

ティップネス 会 則

1. 総則

第1条(定義)

本会則によって定める条項は株式会社ティップネス(以下会社という)が運営する全ての施設(以下総称して「本クラブ」という)に適用されるものとします。また、外国語との対訳形式による本会則において、日本語による会則と外国語による会則の解釈に疑義が生じた場合には、日本語版を正本として全ての会員に適用されるものとします。

第2条(目的)

本クラブの会員が、クラブ内の諸施設を利用して、心身の健康維持・増進、会員相互の親睦を図ることを目的とします。

2. 会員

第3条(会員)

- ①本クラブは会員制とし、入会する際に店舗ごとに定められた会員種類で契約し、利用範囲に応じて諸施設を利用することができます。
- ②本クラブはクラブサービスの一部を、会社が運営するウェブサイト「iTIPNESS(アイティップネス)」にて提供し、会員は「iTIPNESS利用規約」に同意の上、「会員登録者」となることにより、コンテンツ提供サービスを利用することができます。尚、会員資格喪失のときは同時に「iTIPNESS(アイティップネス)」のサービス利用資格も喪失します。
- ③会員の契約期間は、月単位で会社が別途定めた期間とし会社所定の退会手続きが完了するまでは自動更新とします。

第4条(入会資格)

本クラブの入会資格を有する方は、以下の項目を全て満たす方とします。

- ①13才以上もしくは中学生以上の男女で、本会則を承認し、諸規則を遵守する方。一部店舗では、16才以上とします。
- ②暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力でない方。また、将来にわたりこれに該当しないことを自ら保証する方。
- ③入会に先だって、本クラブの実施するメディカルチェック等の結果により施設の利用に差し支えがないと判断された方。
- ④「他の会員に迷惑をかける恐れがない、または、会員として好ましくない行為をしない」と会社が判断した方。
- ⑤過去に本クラブで除名処分となったことがない(除名処分に該当する行為を行い、結果的に自ら退会した方を含む)、または会員制スポーツクラブ等で禁止行為を行ったことにより除名処分となったことがない方。また、過去の除名原因が明確であり、会社が別途定める基準に応じて再度入会資格を認めた方。
- ⑥次のいずれかに該当した場合、本クラブが別途定める審査において入会資格が認められ、入会条件に同意した方。
 - ・刺青、ファッションタトゥーがある方。
 - ・集団感染するおそれのある疾病に罹患している方。
 - ・施設を一人で利用できない方。
 - ・妊娠している方。
 - ・上記の他、会社が審査を必要と判断した方。

第5条(入会手続き)

- ①本クラブを利用する方は、本会則を承認の上、入会手続きを行い所定の料金を納入し会社の承認を得、契約を行う事により会員となります。未成年者が入会を希望する場合は、本人とその親権者が連署の上入会手続きを行うものとします。この場合、親権者は本会則に基づく責任を本人と連帯して負うものとします。
- ②会員となる方は入会手続きの際、氏名、生年月日、性別、連絡先電話番号、現住所、緊急連絡先と電話番号、郵便物送付先、勤務先名称と勤務先住所、および会費決済に必要な情報を登録するものとします。また、会員となる方は登録内容が正確であることを保証するものとします。
- ③会員は入会手続きによって付与された会員番号により、会社が運営するウェブサイト「iTIPNESS」に登録されます。会員が「iTIPNESS利用規約」に同意の上パスワード・メールアドレス等、所定項目を登録することにより、サービスを利用できます。

- ④本クラブは会員の顔写真を撮影し、入会手続きによって付与された会員番号を付したデジタル情報として保有し、本人確認等やサービスを提供する上での照合、サービスを利用いただくための資格等の確認に利用します。
- ⑤会員資格を喪失した方が、本クラブに入会を希望する場合、会社は資格喪失理由により、入会金・諸会費・諸料金の割引を適用しない場合があります。また、本クラブは、第4条⑥により再度入会資格を認めた方について、諸会費・諸料金の支払方法を指定する場合があります。

第6条(会員証)

- ①会社は会員に対して会員証を発行します。会員は本クラブの施設を利用するときは、会員証もしくは本クラブが発行するリストバンド型ICタグ「TIP GEAR(ティップギア)」を入退館時に提示いただきます。尚、会員は必要に応じて会員証を提示するものとします。
- ②会員は会員資格を喪失したときは、会員の責任において、切断するなど利用不能の状態にして処分しなければならないものとします。
- ③紛失したときは速やかに所定の方法で必ず再発行手続きをお取りいただきます。
- ④会員証は本人のみが使用する事ができ、他人に貸与、譲渡できません。

第7条(諸会費・諸料金)

- ①会員は会社が定めた諸会費・諸料金を所定の方法で、所定の期日に会社に納入しなければなりません。本クラブは未成年の会員の親権者、または会員資格のある会員の家族を会員の代理人として、諸会費・諸料金の納入を認める場合があります。この場合、会員の代理人は本会則に基づく責任を本人と連帯して負うものとします。
- ②諸会費・諸料金にかかる消費税は会員の負担とします。尚、消費税法の改正等により消費税率が変更される場合、適用日以降に該当する期間の諸会費・諸料金に係る消費税について、前払金を含め法改正の内容に従い、会員は会社が定めた方法で差額を負担するものとします。
- ③諸会費・諸料金の金額、支払時期、支払方法等は会社がこれを定めます。本クラブは会員の利用権利に応じて入会金を設ける場合があります。入会金の有無、金額は別に定め、会員は入会時にこれを支払うこととします。入会金は契約締結のためのものであり、理由の如何を問わず会員にこれを返還しないものとします。
- ④利用回数の有無にかかわらず、所定の退会手続きを完了した退会月迄は月会費のお支払いが必要となります。尚、諸会費・諸料金の一括払い・前払い契約期間中に退会した場合は、会社が別途定める基準によるものとします。
- ⑤会社は本クラブの運営上必要と判断した場合または経済情勢等の変動に応じて、会員種類の改廃もしくは入会金・諸会費・諸料金等の金額を変更することができ、会社が定めた方法により告知するものとします。
- ⑥月会費を滞納している会員は、施設のご利用をお断りします。また未払い分の月会費は支払われなければなりません。
- ⑦一旦納入いただいた諸費用を過払い金が生じた場合、会社所定の退会手続きが完了するまでの間、会社が適当と認める順序、方法によりいずれかの債務にも充当することが出来るものとします。また、法令の定めまたは会社が認める理由がある場合のみ返還いたします。尚、未払い料金のある場合は完納するまで退会後も支払の義務を負うものとします。

第8条(退会)

- ①会員本人の都合による退会は、本人が退会希望月の25日迄(休館日の場合は前営業日)に来店し所定の手続きを完了する事により、その月末で退会できます。また、25日を過ぎた場合、翌月以降の月末日の退会となります。本クラブは手続きの際「退会ご確認書」を交付し、会員はこれに記載される退会年月を自ら確認するものとします。未払い料金のある場合は完納するまで退会後も支払の義務を負うものとします。
- ②本人来店による所定の手続きができない場合は、代理人または郵

送による所定の手続きができるものとし、手続期限などは第8条①と同様です。

第9条(会員資格の譲渡、相続、貸与)

会員は、如何なる場合も、その会員資格を他に譲渡・相続または貸与することはできません。

第10条(会員の休会)

- ①会員本人の都合により1ヶ月以上の長期にわたり本クラブを利用できない場合、本人が休会希望前月の25日迄(休館日の場合は前営業日)に来店し所定の手続きを完了し、所定の休会月会費を支払うことにより休会できます。また、休会手続きが休会希望前月の25日を過ぎた場合、翌々月以降の休会となり、翌月の月会費は全額お支払いいただきます。
- ②休会会員は、本人の申し出により随時復会できます。復会月より所定の月会費をいただきます。また、1ヶ月以内の復会は休会の取り消しとなり、復会月の月会費は全額お支払いいただきます。復会手続きが25日を過ぎた場合、復会月の翌月は休会できないものとし、翌月の月会費は全額お支払いいただきます。
- ③本人来店による所定の手続きができない場合は、代理人または郵送による所定の手続きができるものとし、手続期限などは第10条①と同様です。

第11条(諸手続き)

- ①会員は会員種類・プライベートロッカー・オプション・サービスに関する変更等の手続きを、別途定める所定の方法で完了しなければなりません。また、本クラブは手続きの際「確認書」を交付し、変更契約書の取り交わしは省略するものとします。
- ②会員は入会手続きの際に登録した内容に変更があった場合、速やかに変更手続きを行わなくてはなりません。また、その後に変更があった場合も同様とします。
- ③会員の氏名、生年月日、性別、連絡先電話番号、現住所、緊急連絡先と電話番号、郵便物送付先、勤務先名称と勤務先住所について、本クラブが変更の実事を確認した場合は、本人の同意をもって登録内容を変更できるものとし、届出書の取り交わしを省略する場合があります。
- ④会社が会員あてに郵便物で通知する場合、会員から届出のあった最新の住所あてに行い、発送をもって効力を有するものとし、不到達等以後の責を負いません。
- ⑤会社が会員あてにiTIPNESSもしくはEメールで通知する場合、会員から届出のあった登録内容に基づいて行い、表示または発信をもって効力を有するものとし、未確認または不到達等以後の責を負いません。
- ⑥会員が連絡先の変更を怠った場合、郵便物を希望しない場合、もしくはiTIPNESSを利用しない場合は、会社からの通知が不到達となっても、通常到達すべきときに到達したものとみなすことに異議はないものとします。
- ⑦本クラブは、本人確認等やサービスを提供する上での照合、サービスを利用いただくための資格等の確認のため、入会手続きの際に撮影した顔写真の更新が必要と判断した場合、会員の顔写真を撮影できるものとします。

第12条(会員除名)

- 会員が次のいずれかに該当した場合は、会社は、資格停止処分あるいは除名処分等の処分をなすことができます。また、各項に該当し除名を受けた会員は、その後会社の運営する全ての施設に入会および立ち入ることができないものとします。(但し、会社が別途定める基準に準じて認めた場合は除く)
- ①本会則、その他会社が定める諸規則に違反したとき。
 - ②本クラブの名誉を傷つけ、秩序を乱したとき。
 - ③諸会費、諸料金の滞納、遅延など支払いを怠ったとき。
 - ④入会に際して会社に虚偽の申告をしたとき。
 - ⑤会社が本クラブの会員としてふさわしくないと判断したとき。
 - ⑥暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力であることが判明したとき。
 - ⑦他の会員に対する迷惑行為、本クラブの運営に支障を与えるような行為をしたとき。
 - ⑧第21条各号の禁止行為を行ったとき。
 - ⑨その他、本条各号に準ずる行為をしたとき。

第13条(会員資格喪失)

会員は次の場合に会員資格を喪失します。

- ①退会したとき。
- ②会員が提携クレジットカード会社(株式会社オリエントコーポレーション、株式会社ジャックス、ライフカード株式会社)へ申し込んだ会費決済料金集金制度またはティップネスカードで会費を支払う場合、会社が提携クレジットカード会社より会費決済について契約不成立、解除または無効の通知を受理したとき。(理由の如何に関わらず、会員へ事前通知連絡することはありません。)
- ③除名されたとき。
- ④死亡したとき。
- ⑤本クラブを廃止したとき。

第14条(健康管理)

- ①会員は各自の責任において健康管理を行うものとします。
- ②会員は疾病により医師に運動や入浴を控えるように指示された場合、または施設およびサービスの利用にあたり治療中の疾病もしくは疾患の疑いが生じた場合には本クラブへ申告するものとします。本クラブは会員からの申告または施設およびサービスの利用中に疾病もしくは疾患の可能性が生じた場合にはメディカルチェックを実施し、その結果により施設の利用に差し支えがないことを確認するものとします。

3.施設・サービス利用

第15条(同伴ビジター・ビジター)

- ①会員が同伴した会員以外の方(以下、同伴ビジターという)は、同伴した会員の利用資格に準じて施設・サービスを利用することができます。同伴ビジターは会社が別途定めた施設使用料金を支払うものとします。
- ②会社は、会員以外の方(以下、ビジターという)に本クラブの見学、施設・サービスを利用させることができます。
- ③同伴ビジターおよびビジターについても施設・サービス利用のための資格確認、運営や緊急時の対応に必要な情報を登録するものとします。また、会員と同様に本会則が適用されます。

第16条(諸規則の厳守)

会員は本クラブ施設・サービス利用に際して、本会則および会社が別途定める規則、注意事項を厳守し、本クラブでは従業員の指示に従っていただきます。

第17条(入場禁止、退場)

会社は下記の項に該当する方に入場禁止、退場を命じることができます。

- ①本会則および諸規則を遵守しない方。
- ②暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力。
- ③刺青、ファッションタトゥーを露出した方。
- ④酒気を帯びている方。
- ⑤集団感染するおそれのある疾病に罹患している方。
- ⑥会社が、他の施設利用者に迷惑をかけると判断した方。
- ⑦正当な理由なく本クラブの従業員の指示に従わない方。
- ⑧過去に本クラブで除名の通告を受けたまたは除名処分となったことがある(除名処分に該当する行為を行い、結果的に自ら退会した方を含む)、または会員制スポーツクラブ等で禁止行為を行ったことにより除名処分となったことがある方。
- ⑨第21条で禁止されている行為を行った方。

第17条の2(施設・サービス利用制限)

会社は下記の項に該当する方に施設・サービス利用の制限を命じることができます。

- ①健康状態により、医師から運動や入浴を禁じられている方。
- ②会社が運動や入浴、サービス利用することが好ましくないと判断した方。

第18条(損害賠償)

- ①本クラブの施設利用に際して本人または第三者に人的・物的事故が生じ、その事故について会社に帰責事由が認められる場合に限り、会社は適正な範囲の賠償をするものとします。
- ②会員が本クラブの施設利用に際して会社、従業員または第三者に

損害を与えた場合、速やかにその賠償の責に任じるものとします。

第19条(盗難)

会員は、本クラブに設置されているロッカー等を会員自身の責任と負担により使用するものとします。収納物の盗難・毀損その他本クラブの利用に際して生じた盗難・毀損等については、会社に帰責事由が認められる場合に限り、会社は適正な範囲の賠償をするものとします。

第20条(紛失物・忘れ物・放置物)

- ①会員が本クラブの利用に際して生じた紛失については、会社は一切損害賠償・補償等の責を負いません。
- ②忘れ物・放置物については、原則として2週間保管した後、処理させていただきます。

第21条(禁止事項)

本クラブ施設内および本クラブ周辺において、会員による次の行為を禁止します。

- ①動物を施設内に持ち込むこと。(身体障害者補助犬法で定められた盲導犬、介助犬および聴導犬を除く)
- ②刃物等の危険物を施設内に持ち込むこと。
- ③施設内で喫煙すること。(電子タバコ・無煙タバコを含む)
- ④許可なく施設内で撮影・録音すること。
- ⑤本クラブの諸施設・器具・備品その他会社が管理する物品の損壊や持ち出し。施設内に落書きや造作をすること。
- ⑥所定の場所以外での排泄行為。
- ⑦他人や従業員、本クラブ、会社を誹謗、中傷すること。
- ⑧許可なく本クラブにおいて物品の売買やパーソナルトレーニング等の営業行為や勧誘をすること。営利・非営利を問わず勧誘行為(団体加入の勧誘を含む)や政治活動、署名活動をするなど。
- ⑨他人や従業員の身体を押し、拘束する、殴る、蹴り上げる等の暴力行為。暴言、恫喝、大声、奇声を発したり、他人を睨む、行く手を遮る、襲いかかろうとする等の威嚇行為。物を叩く、投げる、壊すなど、他人が恐怖を感じる危険な行為。
- ⑩痴漢、覗き、露出等の公序良俗に反する行為。
- ⑪他人や従業員を待ち伏せたり、尾行、執拗な話しかけ等のストーカー行為。
- ⑫正当な理由なく、面談、電話、その他の方法で従業員を拘束する等、従業員の業務を妨げる行為。
- ⑬他人の施設利用を妨げる行為。
- ⑭支払うべき諸会費、諸料金、諸費用を支払うことなく不正に施設・サービスを利用する行為。
- ⑮その他、本クラブの秩序を乱す行為。本条各号に準じる行為。

第22条(利用案内)

本会則に定めないクラブ運営事項については、施設内掲示あるいは利用案内または会社が別途定める規則に定めます。

4.施設営業

第23条(営業時間)

営業時間は別途定めます。

第24条(休館)

- ①本クラブは別途予め指定する期間を年次休館(年末年始・夏季)とするほか、年一回一定期間をメンテナンス休館、施設点検日を定期休館とします。
- ②①の休館のほか本クラブは、次の理由により施設の全部または一部を臨時休館することがあります。
 - (1)気象、災害、警報、注意報等により、安全に営業を行う事ができないと会社が判断したとき。
 - (2)行政指導、法令等重大な事由により、止む得ないと会社が判断したとき。
 - (3)入居している複合施設が休館するとき。
 - (4)館内改装、施設の改造または修理、その他の工事により営業ができないと会社が判断したとき。
- ③予め予定されている休館は、原則2週間前までに告知します。但し、緊急の際は事前告知できない場合があります。
- ④施設の一部の利用制限ないし利用停止の措置にとどまる場合には、会社は会員に会費を返還しないものとします。また、②(1)(2)(3)

(4)の事由による休館店舗のみ利用できる会員種類の会員の会費については、以下のとおりとします。但し、休館店舗以外の他店舗も利用することができる会員種類の会員は対象外とします。

(1)月間10営業日以上(2月は9営業日以上)全館休館した場合は、休館した日数分を日割り計算し返金いたします。

第25条(本クラブおよび施設の廃止・統合)

会社は次の理由により、本クラブおよび施設の全部または一部を廃止・統合することがあります。

- ①気象、災害等により施設を休館し、再開業が困難と判断したとき。
 - ②経営上、営業の継続が困難と判断したとき。
- 本クラブおよび施設の廃止や統合が行われた場合、会社はその旨を会員に告知し、本クラブの会員契約の全部または一部を終了させることができるものとします。

5.その他

第26条(個人情報保護)

会社は、個人情報の取扱いに関するプライバシーポリシーを策定し、本プライバシーポリシーを遵守するとともに、お客様の個人情報ははじめとする全ての個人情報をより安全かつ適切に取り扱うことを宣言いたします。プライバシーポリシーは、会社ホームページに掲載いたします。

第27条(会則の改定)

会社は本会則を改定することができ、改定された会則は、改定日より全会員に適用されるものとします。また、会社が本会則を改定する場合には、改定日の2ヶ月以上前に第28条(告知方法)および別途会社が告知方法を定めた場合にはその方法に従って会員に告知するものとします。

第28条(告知方法)

本会則の改定にあたっては、施設内に掲示し、かつ、会社のウェブサイトに掲載することにより、これを会員に告知するものとします。

附則

本会則は、2020年4月1日より施行いたします。

法人月会費制会員 会則における特則

法人月会費制会員は、ティップネス会則に次の事項を適用・追加いたします。

第1条 ティップネス会則第4条(入会資格)①項について以下の内容を適用します。

- ①16才以上の男女で、本会則を承認し、諸規則を厳守する方。

第2条 ティップネス会則第8条(退会)について以下の通り追加いたします。

- ①契約法人が本クラブを退会した場合は、各登録会員も自動的に退会となります。(会員による退会の手続きは不要です。)
- ②お勤め先、所属先を退職または脱退した場合は、会員本人が退職または脱退月の25日迄に来店し所定の手続きを完了しなければなりません。

第3条 ティップネス会則第13条(会員資格喪失)について以下の通り追加いたします。

会員は次の場合に会員資格を喪失します。

- ①契約法人が本クラブを退会したとき、または契約法人たる資格を喪失したとき。
- ②お勤め先、所属先を退職または脱退したとき。

第4条(効力)

本特則は2020年4月1日より適用します。本特則に定めのない事項は、全てティップネス会則に従うものとします。

以上

株式会社ティップネス

法人登録会員 会 則

1.総則

第1条(定義)

本会則によって定める条項は株式会社ティップネス(以下会社という)が運営する全ての施設(以下総称して「本クラブ」という)に適用されるものとします。また、外国語との対訳形式による本会則において、日本語による会則と外国語による会則の解釈に疑義が生じた場合には、日本語版を正本として全ての会員に適用されるものとします。

第2条(目的)

会社と契約した法人(以下、契約法人という)の役員・従業員および役員・従業員の家族(以下、法人登録会員という)が本クラブ内の諸施設を利用して、心身の健康維持・増進・会員相互の親睦を図ることを目的とします。

2.法人登録会員

第3条(法人登録会員)

- ①本クラブは会員制とし、法人登録会員は会社と契約法人の間で定めた契約条件(以下、契約という)に応じて施設を利用することができます。
- ②法人登録会員の登録期間は、契約が継続中の場合に限りです。
- ③本クラブはクラブサービスの一部を、会社が運営するウェブサイト「iTIPNESS(アイティップネス)」にて提供し、会員は「iTIPNESS 利用規約」に同意の上、「会員登録者」となることにより、コンテンツ提供サービスを利用することができます。尚、会員資格喪失のときは同時に「iTIPNESS(アイティップネス)」のサービス利用資格も喪失します。

第4条(登録資格)

本クラブの法人登録会員に登録する資格を有する方は、契約法人の役員・従業員及び役員・従業員の家族に限定され、以下の項目を全て満たす方とします。

- ①16歳以上の男女で、本会則を承認し、諸規則を遵守する方。(libéryに関しては、16歳以上の女性に限りです。)
- ②登録にあたり契約法人の承認を得た上で、法人登録会員として登録を希望する方。
- ③暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力でない方。また、将来にわたりこれに該当しないことを自ら保証する方。
- ④登録に先だって、本クラブの実施するメディカルチェック等の結果により施設の利用に差し支えがないと判断された方。
- ⑤「他の会員に迷惑をかける恐れがない、または、会員として好ましくない行為をしない」と会社が判断した方。
- ⑥過去に本クラブで除名処分となったことがない(除名処分に該当する行為を行い、結果的に自ら退会した方を含む)、または会員制スポーツクラブ等で禁止行為を行ったことにより除名処分となったことがない方。また、過去の除名原因が明確であり、会社が別途定める基準に応じて再度登録資格を認めた方。
- ⑦次のいずれかに該当した場合、本クラブが別途定める審査において登録資格が認められ、登録条件に同意した方。
 - ・刺青、ファッションタトゥーがある方。
 - ・集団感染するおそれのある疾病に罹患している方。
 - ・施設を一人で利用できない方。
 - ・妊娠している方。
 - ・上記の他、会社が審査を必要と判断した方。

第5条(法人登録会員登録手続き)

- ①本クラブを利用する方は、契約法人の承認を前提に、本会則を承認の上、法人登録会員として登録手続きを行わなくてはなりません。
- ②法人登録会員となる方は登録手続きの際、氏名、生年月日、性別、連絡先電話番号、現住所、緊急連絡先と電話番号、および従業員・健保番号等の法人登録会員に必要な情報を登録するものとします。また、法人登録会員となる方は登録内容が正確であることを保証するものとします。
- ③会員は入会手続きによって付与された会員番号により、会社が運営するウェブサイト「iTIPNESS」に登録されます。会員が「iTIPNESS 利用規約」に同意の上パスワード・メールアドレス等、所定項目を登録することにより、サービスを利用できます。
- ④本クラブは会員の顔写真を撮影し、登録手続きによって付与された会員番号を付したデジタル情報として保有し、本人確認等やサービスを提供する上での照合、サービスを利用いただくための資格等の確認に利用します。
- ⑤未成年者が登録を希望する場合は、本人とその親権者が連署の上登録手続きを行うものとします。この場合、親権者は本会則に基づく責任を本人と連帯して負うものとします。
- ⑥会員資格を喪失した方が、本クラブに入会を希望する場合、会社は資格喪失理由により、諸会費・諸料金の割引を適用しない場合があります。また、本クラブは、第4条⑥により再度入会資格を認めた方について、利用料・諸料金の支払方法を指定する場合があります。

第6条(会員証)

- ①会社は法人登録会員に対して会員証を発行します。法人登録会員が本クラブの施設を利用するときは、会員証を入退館時に提示いただきます。なお、会員は必要に応じて会員証を提示するものとします。
- ②法人登録会員は会員資格を喪失したときは、法人登録会員の責任において、契約法人に会員証を返還するもしくは、切断するなど利用不能の状態にして処分しなければならないものとします。
- ③紛失したときは速やかに所定の方法で必ず再発行手続きをお取りいただきます。
- ④会員証は本人のみが使用する事ができ、他人に貸与、譲渡できません。

第7条(利用料・諸料金)

- ①法人登録会員は本クラブを利用する場合、契約で定められた所定の施設利用料を支払うものとします。
- ②法人登録会員は契約に定めのないサービスを受ける場合、所定の料金を支払うものとします。
- ③利用料・諸料金にかかる消費税は会員の負担とします。尚、消費税法の改正等により消費税率が変更される場合、適用日以降に該当する期間の利用料・諸料金に係る消費税について、前払金を含め法改正の内容に従い、会員は会社が定めた方法で差額を負担するものとします。

第8条(登録解除)

- ①法人登録会員本人の都合により登録を解除する場合は契約法人に届出なければなりません。
- ②契約が継続されなかった場合、または、解除となった場合は、契約期間満了をもって登録解除となります。

第9条(諸手続き)

- ①法人登録会員は会員種類・プライベートロッカー・オプション・サービスに関する変更等の手続きを、別途定める所定の方法で完了しなければなりません。また、本クラブは手続きの際「確認書」を交付し、変更契約書の取り交わしは省略するものとします。
- ②法人登録会員が法人登録会員申込書に記載した内容に変更があった場合(住所変更等)速やかに届出を行い、変更手続きを行わなくてはなりません。
- ③法人登録会員の氏名、生年月日、性別、連絡先電話番号、現住所、緊急連絡先と電話番号、郵便物送付先、勤務先名称と勤務先住所について、本クラブが変更の事実を確認した場合は、本人の同意をもって登録内容を変更できるものとし、届出書の取り交わしを省略する場合があります。
- ④会社が法人登録会員あてに郵便物で通知する場合、法人登録会員から届出のあった最新の住所あてに行い、発送をもって効力を有するものとし、不到達等以後の責を負いません。
- ⑤会社が法人登録会員あてにiTIPNESSもしくはEメールで通知する場合、法人登録会員から届出のあった登録内容に基づいて行い、表示または発信をもって効力を有するものとし、未確認または不到達等以後の責を負いません。
- ⑥法人登録会員が連絡先の変更を怠った場合、郵便物を希望しない場合、もしくはiTIPNESSを利用しない場合は、会社からの通知が不到達となっても、通常到達すべきときに到達したものとみなすことに異議はないものとします。
- ⑦本クラブは、本人確認等やサービスを提供する上での照合、サービスを利用いただくための資格等の確認のため、入会手続きの際に撮影した顔写真の更新が必要と判断した場合、会員の顔写真を撮影できるものとします。

第10条(利用制限)

会社は次のいずれかの場合、契約内容に応じて、法人登録会員の施設利用を制限する場合があります。

- ①契約で定めた施設利用回数を超過してしまったとき。
- ②契約で定めた法人登録会員1名当りの利用回数制限値を超過してしまったとき。
- ③契約で定めた利用可能店舗、時間、曜日の範囲を超えた利用があった場合。

第11条(会員除名)

法人登録会員が次のいずれかに該当した場合は、会社は、その法人登録会員に資格停止処分あるいは除名処分等の処分をなすことができます。また、各項に該当し除名を受けた法人登録会員は、その後会社の運営する全ての施設に入会および立ち入ることができないものとします。

(但し、会社が別途定める基準に準じて認めた場合は除く)

- ①本会則、その他会社が定める諸規則に違反したとき。
- ②本クラブの名誉を傷つけ、秩序を乱したとき。
- ③利用料、諸料金の滞納、遅延など支払いを怠ったとき。
- ④登録に際して会社に虚偽の申告をしたとき。
- ⑤会社が本クラブの法人登録会員としてふさわしくないと判断したとき。
- ⑥暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力であることが判明したとき。
- ⑦他人に対する迷惑行為、本クラブの運営に支障を与えるような行為をしたとき。
- ⑧第20条各号の禁止行為を行なったとき。
- ⑨その他、本条各号に準ずる行為を行ったとき。

第12条(資格喪失)

法人登録会員は次の場合に法人登録会員としての資格を喪失します。

- ①契約法人が退会したとき、または契約法人たる資格を喪失したとき。
- ②契約法人たる法人を退職または脱退したとき。
- ③除名されたとき。

- ④死亡したとき。
- ⑤本クラブを廃止したとき。

第13条(健康管理)

- ①法人登録会員は各自の責任において健康管理を行うものとします。
- ②法人登録会員は疾病により医師に運動や入浴を控えるように指示された場合、または施設およびサービスの利用にあたり治療中の疾病もしくは疾患の疑いが生じた場合には本クラブへ申告するものとします。本クラブは会員からの申告または施設およびサービスの利用中に疾病もしくは疾患の可能性が生じた場合にはメディカルチェックを実施し、その結果により施設の利用に差し支えがないことを確認するものとします。

3. 施設・サービス利用

第14条(同伴ビジター・ビジター)

- ①法人登録会員が同伴した法人登録会員以外の方(以下、同伴ビジターという)は、同伴した法人登録会員の利用資格に準じて施設・サービスを利用することができます。また、同伴ビジターは会社が別途定めた施設使用料金を支払うものとします。
- ②会社は、法人登録会員以外の方(以下会員外利用者という)に本クラブの見学、施設・サービスを利用させることができます。会員外利用者についても施設・サービス利用のための資格確認、運営や緊急時の対応に必要な情報を登録するものとします。また、会員と同様に本会則を適用します。

第15条(諸規則の厳守)

会員は本クラブ施設・サービス利用およびレッスン受講に際して、本会則および会社が別途定める規則、注意事項を厳守し、本クラブでは従業員の指示に従っていただきます。

第16条(入場禁止、退場)

会社は下記の項に該当する方に入場禁止、退場を命じることができます。

- ①本会則および諸規則を遵守しない方。
- ②暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力。
- ③刺青、ファッションタトゥーを露出した方。
- ④酒気を帯びている方。
- ⑤集団感染するおそれのある疾病に罹患している方。
- ⑥会社が、他の施設利用者に迷惑をかけると判断した方。
- ⑦正当な理由なく本クラブの従業員の指示に従わない方。
- ⑧過去に本クラブで除名の通告を受けたまたは除名処分となったことがある(除名処分に該当する行為を行い、結果的に自ら退会した方を含む)、または会員制スポーツクラブ等で禁止行為を行ったことにより除名処分となったことがある方。
- ⑨第20条で禁止されている行為を行った方。

第16条の2(施設・サービス利用制限)

会社は下記の項に該当する方に施設・サービス利用の制限を命じることができます。

- ①健康状態により、医師から運動や入浴を禁じられている方。
- ②会社が運動や入浴、サービス利用することが好ましくないと判断した方。

第17条(損害賠償)

- ①本クラブの施設利用に際して本人または第三者に人的・物的事故が生じ、その事故について会社に帰責事由が認められる場合に限り、会社は適正な範囲の賠償をします。
- ②法人登録会員が本クラブの施設利用に際して会社、従業員または第三者に損害を与えた場合、速やかにその賠償の責に任じるものとします。

第18条(盗難)

法人登録会員は、本クラブに設置されているロッカー等を会員自身の責任と負担により使用するものとします。収納物の盗難・毀損その他本クラブの利用に際して生じた盗難・毀損等については、会社に帰責事由が認められる場合に限り、会社は適正な範囲の賠償をします。

第19条(紛失物・忘れ物・放置物)

- ①法人登録会員が本クラブの利用に際して生じた紛失については、会社は一切損害賠償・補償等の責を負いません。
- ②忘れ物・放置物については、原則として2週間保管した後、処理させていただきます。

第20条(禁止事項)

本クラブ施設内および本クラブ周辺において、法人登録会員による次の行為を禁止します。

- ①動物を施設内に持ち込むこと。(身体障害者補助犬法で定められた盲導犬、介助犬および聴導犬を除く)
- ②刃物等の危険物を施設内に持ち込むこと。
- ③施設内で喫煙すること。(電子タバコ・無煙タバコを含む)
- ④許可なく施設内で撮影・録音すること。
- ⑤本クラブの諸施設・器具・備品その他会社が管理する物品の損壊や持ち出し。施設内に落書きや造作をすること。
- ⑥所定の場所以外での排泄行為。
- ⑦他人や従業員、本クラブ、会社を誹謗、中傷すること。

- ⑧許可なく本クラブにおいて物品の売買やパーソナルトレーニング等の営業行為や勧誘をすること。営利・非営利を問わず勧誘行為(団体加入の勧誘を含む)や政治活動、署名活動をする事。
- ⑨他人や従業員の身体を押す、拘束する、殴打する、蹴り上げる等の暴力行為。暴言、恫喝、大声、奇声を発したり、他人を睨む、行く手を遮る、襲いかかろうとする等の威嚇行為。物を叩く、投げる、壊すなど、他人が恐怖を感じる危険な行為。
- ⑩痴漢、覗き、露出等の公序良俗に反する行為。
- ⑪他人や従業員を待ち伏せたり、尾行、執拗な話しかけ等のストーカー行為。
- ⑫正当な理由なく、面談、電話、その他の方法で従業員を拘束する等、従業員の業務を妨げる行為。
- ⑬他人の施設利用を妨げる行為。
- ⑭支払うべき利用料、諸料金、諸費用を支払うことなく不正に施設・サービスを利用する行為。
- ⑮その他、本クラブの秩序を乱す行為。本条各号に準じる行為。

第21条(利用案内)

本会則に定めないクラブ運営事項については、施設内掲示あるいは利用案内または会社が別途定める規則に定めます。

4. 施設営業

第22条(営業時間)

営業時間は別途定めます。

第23条(休館)

- ①本クラブは別途予め指定する期間を年次休館(年末年始・夏季)とするほか、年一回一定期間をメンテナンス休館、施設点検日を定期休館とします。
- ②①の休館のほか本クラブは、次の理由により施設の全部または一部を臨時休館することがあります。
 - (1)気象、災害、警報、注意報等により、安全に営業を行う事ができないと会社が判断したとき。
 - (2)行政指導、法令等重大な事由により、止む得ないと会社が判断したとき。
 - (3)入居している複合施設が休館するとき。
 - (4)館内改装、施設の改造または修理、その他の工事により営業ができないと会社が判断したとき。
- ③予め予定されている休館は、原則2週間前までに告知します。但し、緊急の際は事前告知できない場合があります。

第24条(本クラブおよび施設の廃止・統合)

- 会社は次の理由により、本クラブおよび施設の全部または一部を廃止・統合することがあります。
 - ①気象、災害等により施設を休館し、再開業が困難と判断したとき。
 - ②経営上、営業の継続が困難と判断したとき。本クラブおよび施設の廃止や統合が行われた場合、会社はその旨を会員に告知し、本クラブの会員契約の全部または一部を終了させることができるものとします。

5. その他

第25条(個人情報保護)

会社は、個人情報の取扱いに関するプライバシーポリシーを策定し、本プライバシーポリシーを遵守するとともに、お客様の個人情報ははじめとする全ての個人情報をより安全かつ適切に取り扱うことを宣言いたします。プライバシーポリシーは、会社のホームページに掲載いたします。

第26条(会則の改定)

会社は本会則を改定することができ、改定された会則は、改定日より全会員に適用されるものとします。また、会社が本会則を改定する場合には、改定日の2ヶ月前に第27条(告知方法)および別途会社が告知方法を定めた場合にはその方法に従って会員に告知するものとします。

第27条(告知方法)

本会則の改定にあたっては、施設内に掲示し、かつ、会社のウェブサイトへ掲載することにより、これを会員に告知するものとします。

附則

本会則は、2019年10月1日より施行いたします。

以上

株式会社ティップネス

ティップネス・キッズ 会 則

1. 総則

第1条(定義)

本会則によって定める条項は株式会社ティップネス(以下会社という)が運営するティップネス・キッズ(以下総称して「本スクール」という)に適用されるものとします。また、会社が運営する全ての施設を総称して「本クラブ」という。なお、外国語との対訳形式による本会則において、日本語による会則と外国語による会則の解釈に疑義が生じた場合には、日本語版を正本として全ての会員に適用されるものとします。

第2条(目的)

本スクールの会員が、本スクールの参加および本クラブ内の諸施設を利用して、心身の健康維持・増進、会員相互の親睦を図ることを目的とします。

2. 会員

第3条(会員)

- ①本スクールは会員制とし、入会する際に店舗ごとに定められたクラスで契約した会員(以下「会員」という)の利用範囲に応じて、本スクールの参加および本クラブ内の諸施設を利用することができます。
- ②本スクールはサービスの一部を、会社が運営するウェブサイト「i TIPNESS(アイティップネス)」にて提供し、会員は「i TIPNESS 利用規約」に同意の上、「会員登録者」となることにより、コンテンツ提供サービスを利用することができます。尚、会員資格喪失のときは同時に「i TIPNESS(アイティップネス)」のサービス利用資格も喪失します。
- ③会員の契約期間は、月単位で会社が別途定めた期間とし会社所定の退会手続きが完了するまでは自動更新とします。
- ④会員の責任事項は全て親権者の責とします。

第4条(入会資格)

本スクールの入会資格を有する方は、以下の項目を全て満たす方とします。

- ①0歳以上15歳以下で、親権者が本会則を承認し、諸規則を遵守する方。
- ②親権者が暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力でない方。また、将来にわたりこれに該当しないことを親権者自ら保証する方。
- ③入会に先だって、本スクールの実施するメディカルチェック等の結果により施設の利用に差し支えがないと判断された方。
- ④「他の会員に迷惑をかける恐れがない、または、会員として好ましくない行為をしない」と会社が判断した方。
- ⑤本人または親権者が過去に本スクールで除名処分となったことがない(除名処分に該当する行為を行い、結果的に自ら退会した方を含む)、または会員制スクール等で禁止行為を行ったことにより除名処分となったことがない方。また、過去の除名原因が明確であり、会社が別途定める基準に応じて再度入会資格を認めた方。
- ⑥次のいずれかに該当した場合、本スクールが別途定める審査において入会資格が認められ、入会条件に同意した方。
 - ・本人または親権者に刺青、ファッショントウがある方。
 - ・集団感染するおそれのある疾病に罹患している方。
 - ・一人で参加できない方。
 - ・同伴者が妊娠している方。
 - ・上記の他、会社が審査を必要と判断した方。

第5条(入会手続き)

- ①本スクールを利用する方は、本会則を承認の上、入会手続きを行い所定の料金等を納入し会社の承認を得、契約を行う事により会員となります。

- ②会員となる方は入会手続きの際、氏名、生年月日、性別、連絡先電話番号、現住所、緊急連絡先と電話番号、郵便物送付先、および会費決済に必要な親権者情報を登録するものとします。また、会員の親権者は登録内容が正確であることを保証するものとします。
- ③会員は入会手続きによって付与された会員番号により、会社が運営するウェブサイト「i TIPNESS」に登録されます。会員が「i TIPNESS 利用規約」に同意の上パスワード・メールアドレス等、所定項目を登録することにより、サービスを利用できます。
- ④会員資格を喪失した方が、本スクールに入会を希望する場合、会社は資格喪失理由により、入会金・諸会費・諸料金の割引を適用しない場合があります。また、本スクールは、第4条⑦により再度入会資格を認めた方について、諸会費・諸料金の支払方法を指定する場合があります。

第6条(親権者の責任)

入会を希望する場合は、親権者が入会申込みを行うものとします。この場合、親権者は本会則に基づく責任を全て負うものとします。

第7条(会員証)

- ①会社は会員に対して会員証を発行します。会員は本スクールに参加するときは、会員証を必ず携帯し入退館時に提示いただきます。
- ②会員は会員資格を喪失したときは、親権者の責任において、切斷するなど利用不能の状態にして処分しなければならないものとします。
- ③紛失したときは速やかに所定の方法で必ず再発行手続きをお取りいただきます。
- ④会員証は本人のみが使用する事ができ、他人に貸与、譲渡できません。

第8条(諸会費・諸料金)

- ①会員は会社が定めた諸会費・諸料金を所定の方法で、所定の期日に会社に納入しなければなりません。本スクールは会員の親権者、または会員資格のある会員の家族を会員の代理人として、諸会費・諸料金の納入を認める場合があります。この場合、会員の代理人は本会則に基づく責任を本人と連帯して負うものとします。
- ②諸会費・諸料金にかかる消費税は会員の負担とします。尚、消費税法の改正等により消費税率が変更される場合、適用日以降に該当する期間の諸会費・諸料金に係る消費税について、前払金を含め法改正の内容に従い、会員は会社が定めた方法で差額を負担するものとします。
- ③諸会費・諸料金の金額、支払時期、支払方法等は会社がこれを定めます。
- ④利用回数の有無にかかわらず、所定の退会手続きを完了した退会月迄は、月会費のお支払いが必要となります。
- ⑤会社は本スクールの運営上必要と判断した場合または経済情勢等の変動に応じて、クラスの改廃もしくは諸会費・諸料金等の金額を変更することができます。会社が定めた方法により告知するものとします。
- ⑥月会費を滞納している会員は、施設のご利用をお断りします。また未払い分の月会費は支払わなければなりません。
- ⑦一旦納入いただいた諸費用に過払金が生じた場合、会社所定の退会手続きが完了するまでの間、会社が適当と認める順序、方法によりいずれかの債務にも充当することが出来るものとします。また、法令の定めまたは会社が認める理由がある場合のみ返還いたします。尚、返還先は、会員本人または第8条①で予め会社が認めている会員の代理人とします。

第9条(クラスの受講)

- ①会員は店舗毎に定められたクラスを受講しなければなりません。(クラスの内容、開講日時、料金、会員の受講資格については別途定めます。)
- ②会員は、会社が別途定める振替制度に則り、クラスの振替受講がで

きるものとします。
振替受講を希望する場合は、会社指定日までに届けるものとします。

第10条(退会)

- ①会員本人の都合による退会は、親権者が退会希望月の25日迄(休館日の場合は前営業日)に来店し所定の手続きを完了する事により、その月末で退会できます。また、25日を過ぎた場合、翌月以降の月末日の退会となります。本スクールは手続きの際《退会ご確認書》を交付し、親権者はこれに記載される退会年月を自ら確認するものとします。未払い料金のある場合は完納するまで退会後も支払の義務を負うものとします。
- ②親権者来店による所定の手続きができない場合は、代理人または郵送による所定の手続きができるものとし、手続期限などは第10条①と同様です。

第11条(会員資格の譲渡、貸与)

会員は、如何なる場合も、その会員資格を他に譲渡または貸与することはできません。

第12条(会員の休会)

本スクールは、会員の休会制度はありません。

第13条(諸手続き)

- ①会員はクラスの変更等の手続きを、別途定める所定の方法で完了しなければなりません。
- ②会員は入会手続きの際に登録した内容に変更があった場合、速やかに変更手続きを行わなくてはなりません。また、その後に変更があった場合も同様とします。
- ③会員の氏名、生年月日、性別、連絡先電話番号、現住所、緊急連絡先と電話番号、郵便物送付先、勤務先名称と勤務先住所について、本スクールが変更の事実を確認した場合は、本人の同意をもって登録内容を変更できるものとし、届出書の取り交わしを省略する場合があります。
- ④会社が会員あてに郵便物で通知する場合、会員から届出のあった最新の住所あてに行い、発送をもって効力を有するものとし、不到達等以後の責を負いません。
- ⑤会社が会員あてにi TIPNESSもしくはEメールで通知する場合、会員から届出のあった登録内容に基づいて行い、表示または発信をもって効力を有するものとし、未確認または不到達等以後の責を負いません。
- ⑥会員が連絡先の変更を怠った場合、郵便物を希望しない場合、もしくはi TIPNESSを利用しない場合は、会社からの通知が不到達となっても、通常到達すべきときに到達したものとみなすことに異議はないものとします。

第14条(会員除名)

- 会員または親権者が次のいずれかに該当した場合、会社は、資格停止処分あるいは除名処分等の処分をなすことができます。また、各項に該当し除名を受けた会員は、その後会社の運営するすべての施設に入会および立ち入ることができないものとします。
(但し、会社が別途定める基準に準じて認めた場合は除く)
- ①本会則、その他会社が定める諸規則に違反したとき。
 - ②本スクールの名誉を傷つけ、秩序を乱したとき。
 - ③諸会費、諸料金の滞納、遅延など支払いを怠ったとき。
 - ④入会に際して会社に虚偽の申告をしたとき。
 - ⑤会社が本スクールの会員としてふさわしくないと判断したとき。
 - ⑥親権者が暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力であることが判明したとき。
 - ⑦他の会員に対する迷惑行為、本スクールの運営に支障を与えるような行為をしたとき。
 - ⑧第23条各号の禁止行為を行ったとき。

- ⑨その他、本条各号に準ずる行為をしたとき。

第15条(会員資格喪失)

会員は次の場合に会員資格を喪失します。

- ①退会したとき。
- ②会員が提携クレジットカード会社(株式会社オリエントコーポレーション、株式会社ジャックス、ライフカード株式会社)へ申し込んだ会費決済料金集金制度またはタイプネスカードで会費を支払う場合で、会社が提携クレジットカード会社より会費決済について契約不成立、解除または無効の通知を受理したとき。(理由の如何に関わらず、会員へ事前通知連絡することはありません。)
- ③除名されたとき。
- ④死亡したとき。
- ⑤本スクール・本クラブを廃止したとき。

第16条(健康管理)

- ①会員は各自の責任において健康管理を行うものとします。
- ②会員は疾病により医師に運動や入浴を控えるように指示された場合、または施設およびサービスの利用にあたり治療中の疾病もしくは疾患の疑いが生じた場合には本スクールへ申告するものとします。本スクールは会員からの申告または施設およびサービスの利用中に疾病もしくは疾患の可能性が生じた場合にはメディカルチェックを実施し、その結果により施設の利用に差し支えがないことを確認するものとします。

3.施設・サービス利用

第17条(会員外利用者)

会社は、会員以外の方(以下会員外利用者という)に本スクールの見学、施設・サービスを利用させることができます。会員外利用者についても本スクール参加・本クラブ施設利用のための資格確認、運営や緊急時の対応に必要な情報を登録するものとします。また、会員と同様に本会則を適用します。

第18条(諸規則の厳守)

会員は本スクール参加・本クラブ施設利用に際して、本会則および会社が別途定める規則、注意事項を厳守し、従業員の指示に従っていただきます。

第19条(入場禁止、退場)

会社は下記の項に該当する会員または同伴者に入場禁止、退場を命じることができます。

- ①本会則および諸規則を遵守しない方。
- ②暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力。
- ③刺青、ファッションタトゥーを露出した方。
- ④酒気を帯びている方。
- ⑤集団感染するおそれのある疾病に罹患している方。
- ⑥会社が、他の施設利用者に迷惑をかけると判断した方。
- ⑦正当な理由なく本クラブの従業員の指示に従わない方。
- ⑧過去に本スクール・本クラブで除名の通告を受けた、または除名処分となったことがある(除名処分に該当する行為を行い、結果的に自ら退会した方を含む)、または会員制スクール等で禁止行為を行ったことにより除名処分となったことがある方。
- ⑨第23条で禁止されている行為を行った方。

第19条の2(施設・サービス利用制限)

会社は下記の項に該当する方に施設・サービス利用の制限を命じることができます。

- ①健康状態により、医師から運動や入浴を禁じられている方。
- ②会社が運動や入浴、サービス利用することが好ましくないと判断した方。

第20条(損害賠償)

- ①本スクール参加・本クラブ施設利用に際して本人または第三者に人的・物的事故が生じ、その事故について会社に帰責事由が認められる場合に限り、会社は適正な範囲の賠償をするものとします。
- ②会員が本スクール参加・本クラブ施設利用に際して会社、従業員または第三者に損害を与えた場合、速やかにその賠償の責に任じるものとします。

第21条(盗難)

会員は、本クラブに設置されているロッカー等を会員自身の責任と負担により使用するものとします。収納物の盗難・毀損その他本スクール参加・本クラブ施設利用に際して生じた盗難・毀損等については、会社に帰責事由が認められる場合に限り、会社は適正な範囲の賠償をするものとします。

第22条(紛失物・忘れ物・放置物)

- ①会員が本スクール参加・本クラブ施設利用に際して生じた紛失については、会社は一切損害賠償・補償等の責を負いません。
- ②忘れ物・放置物については、原則として2週間保管した後、処理させていただきます。

第23条(禁止事項)

本クラブ施設内および本クラブ周辺において、会員または同伴者による次の行為を禁止します。

- ①動物を施設内に持ち込むこと。(身体障害者補助犬法で定められた盲導犬、介助犬および聴導犬を除く)
- ②刃物等の危険物を施設内に持ち込むこと。
- ③施設内で喫煙すること。(電子タバコ・無煙タバコを含む)
- ④許可なく施設内で撮影・録音すること。
- ⑤本クラブの諸施設・器具・備品その他会社が管理する物品の損壊や持ち出し。施設内に落書きや造作をすること。
- ⑥他人や従業員、本スクール・本クラブおよび会社を誹謗、中傷すること。
- ⑦許可なく本クラブにおいて物品の売買やパーソナルトレーニング等の営業行為や勧誘をすること。営利・非営利を問わず勧誘行為(団体加入の勧誘を含む)や政治活動、署名活動をすること。
- ⑧他人や従業員の身体を押す、拘束する、殴打する、蹴り上げる等の暴力行為。暴言、恫喝、大声、奇声を発したり、他人を睨む、行く手を遮る、襲いかかるうとする等の威嚇行為。物を叩く、投げる、壊すなど、他人が恐怖を感じる危険な行為。
- ⑨痴漢、覗き、露出等の公序良俗に反する行為。
- ⑩他人や従業員を待ち伏せしたり、尾行、執拗な話しかけ等のストーカー行為。
- ⑪正当な理由なく、面談、電話、その他の方法で従業員を拘束する等、従業員の業務を妨げる行為。
- ⑫他人の施設利用を妨げる行為。
- ⑬支払うべき諸会費、諸料金、諸費用を支払うことなく不正に施設・サービスを利用する行為。
- ⑭その他、本スクール・本クラブの秩序を乱す行為。本条各号に準じる行為。

第24条(利用案内)

本会則に定めない本スクール運営事項については、施設内掲示あるいは利用案内または会社が別途定める規則に定めます。

4.スクール営業

第25条(営業時間)

営業時間は別途定めます。

第26条(クラスの休講)

会社は運営上、開講が困難な事由が生じたとき、クラスを休講することがあります。休講分の受講権利は、振替権利の付与もしくは諸

会費・諸料金の充当をいたします。

第27条(休館)

- ①本クラブは別途予め指定する期間を年次休館(年末年始・夏季)とするほか、年一回一定期間をメンテナンス休館、施設点検日を定期休館とします。
- ②①の休館のほか本クラブは、次の理由により施設の全部または一部を臨時休館することがあります。
 - (1)気象、災害、警報、注意報等により、安全に営業を行う事ができないと会社が判断したとき。
 - (2)行政指導、法令等重大な事由により、止む得ないと会社が判断したとき。
 - (3)入居している複合施設が休館するとき。
 - (4)館内改装、施設の改造または修理、その他の工事により営業ができないと会社が判断したとき。
- ③予め予定されている休館は、原則2週間前までに告知します。但し、緊急の際は事前告知できない場合があります。尚、諸会費・諸料金については別途会社が定める基準によるものとします。

第28条(本スクール・本クラブおよび施設の廃止・統合)

会社は次の理由により、本スクール・本クラブの全部または一部を廃止・統合することがあります。

- ①気象、災害等により施設を休館し、再開業が困難と判断したとき。
 - ②経営上、営業の継続が困難と判断したとき。
- 本スクール・本クラブの廃止や統合が行われた場合、会社はその旨を会員に告知し、本スクールの会員契約の全部または一部を終了させることができるものとします。

5.その他

第29条(個人情報保護)

会社は、個人情報の取扱いに関するプライバシーポリシーを策定し、本プライバシーポリシーを遵守するとともに、お客様の個人情報をはじめとする全ての個人情報をより安全かつ適切に取り扱うことを宣言いたします。プライバシーポリシーは、会社ホームページに掲示いたします。

第30条(会則の改定)

会社は本会則を改定することができ、改定された会則は、改定日より全会員に適用されるものとします。また、会社が本会則を改定する場合には、改定日の2ヶ月以上前に第31条(告知方法)および別途会社が告知方法を定めた場合にはその方法に従って会員に告知するものとします。

第31条(告知方法)

本会則の改定にあたっては、施設内に掲示し、かつ、会社のウェブサイトへ掲載することにより、これを会員に告知するものとします。

附則

本会則は、2019年10月1日より施行いたします。

以上

株式会社タイプネス

マタニティ 会 則

1. 総則

第1条(定義)

本会則によって定める条項は株式会社ティップネス(以下会社という)が運営する全ての施設(以下総称して「本クラブ」という)のマタニティスクール(以下、本スクールという)に適用されるものとする。

第2条(目的)

本スクールの会員が、利用範囲に応じて本クラブ内の諸施設を利用して、心身の健康維持・増進を図ることを目的とします。

2. 会員

第3条(入会資格・入会手続き)

- 本スクールに入会の資格を有する方は、以下の項目を全て満たす方とします。
 - 18歳以上かつ13週目以降の医師が正常な妊娠で健康であることを証明する妊婦で、本会則を承認し、諸規則を遵守する方。(但し、高校生は入会資格がありません。)
 - 暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力でない方。また、将来にわりこれに該当しないことを自ら保証する方。
 - 入会に先だって、本クラブの実施するメディカルチェック等の結果により施設の利用に差し支えがないと判断された方。
 - 「他の会員に迷惑をかける恐れがない、または、会員として好ましくない行為をしない」と会社が判断した方。
 - 過去に本クラブで除名処分となったことがない(除名処分に該当する行為を行い、結果的に自ら退会した方を含む)、または会員制スポーツクラブ等で禁止行為を行ったことにより除名処分となったことがない方。また、過去の除名原因が明確であり、会社が別途定める基準に応じて再度入会資格を認められた方。
 - 次のいずれかに該当した場合、本クラブが別途定める審査において入会資格が認められ、入会条件に同意した方。
 - ・刺青、ファッションタトゥーがある方。
 - ・集団感染するおそれのある疾病に罹患している方。
 - ・施設を一人で利用できない方。
 - ・上記の他、会社が審査を必要と判断した方。
- 本スクールに入会を希望する方は、配偶者・父母・親権者のいずれかが連署の上入会手続きを行うものとします。この場合、連署した方は本会則に基づく責任を本人と連帯して負うものとします。
- 本スクールの会員となる方は入会手続きの際、氏名、生年月日、性別、連絡先電話番号、現住所、緊急連絡先と電話番号、郵便物送付先、勤務先名称と勤務先住所、および会費決済に必要な情報を登録するものとします。また、会員となる方は登録内容が正確であることを保証するものとします。
- 会員資格を喪失した方が、本スクールに入会を希望する場合、会社は資格喪失理由により、諸会費・諸料金の割引を適用しない場合があります。また、本スクールは、第3条①(6)により再度入会資格を認めた方について、諸会費・諸料金の支払方法を指定する場合があります。

第4条(スクール証)

- 会社は会員に対してスクール証を発行しこれを貸与するものとし、会員は本クラブの施設を利用するときは、スクール証を必ず携帯し入退館時に提示いただきます。
- 会員は会員資格を喪失したときは、速やかにスクール証を返還していただきます。やむをえず返却できない場合は会員の責任において、切断するなど利用不能の状態にして処分しなければならないものとします。
- 紛失したときは速やかに所定の方法で必ず再発行手続きをお取りいただきます。
- スクール証は本人のみが使用する事ができ、他人に貸与、譲渡できません。

第5条(諸会費・諸料金)

- 会員は会社が定めた諸会費・諸料金を所定の方法で、所定の期日に会社に納入しなければなりません。本クラブは未成年の会員の親権者、または会員資格のある会員の家族を会員の代理人として、諸会費・諸料金の納入を認める場合があります。この場合、会員の代理人は本会則に基づく責任を本人と連帯して負うものとします。
- 諸会費・諸料金にかかる消費税は会員の負担とします。尚、消費税法の改正等による消費税率が変更される場合、適用日以降に該当する期間の諸会費・諸料金に係る消費税について、前払金を含め法改正の内容に従い、会員は会社が定めた方法で差額を負担するものとします。
- 会社は本クラブの運営上必要と判断した場合または経済情勢等の変動に応じて、会員種類の改廃もしくは諸会費・諸料金等の金額を変更することができ、会社が定めた方法により告知するものとします。

第6条(諸手続き)

- 会員は入会申込書の氏名・住所・連絡先に変更があった場合、速やかに変更手続きを行わなくてはなりません。
- 会員の氏名、生年月日、性別、連絡先電話番号、現住所、緊急連絡先と電話番号、郵便物送付先、勤務先名称と勤務先住所について、本クラブが変更の事実を確認した場合は、本人の同意をもって登録内容を変更できるものとし、届出書の取り交わしを省略する場合があります。
- 会社が会員あてに郵便物で通知する場合、会員から届出のあった最新の住所あてに行い、発送をもって効力を有するものとし、不到達等以後の責を負いません。
- 会員が連絡先の変更を怠った場合、もしくは郵便物を希望しない場合は、会社からの通知が不到達となっても、通常到達すべきときに到達したものとみなすことに異議はないものとします。

第7条(会員資格の有効期限)

会員資格の有効期限は、初産・経産婦に関わらず分娩前までとします。

第8条(会員名義の変更等)

会員は名義を変更することができません。また、会員はいかなる場合もその会員資格を他に譲渡または貸与することはできません。

第9条(会員除名)

- 会員が次のいずれかに該当した場合、会社は、資格停止処分あるいは除名処分等の処分をなすことができます。また、各項に該当し除名を受けた会員は、その後会社の運営するすべての施設に入会および立ち入ることができないものとします。(但し、会社が別途定める基準に準じて認めた場合は除く)
 - ①本会則、その他会社が定める諸規則に違反したとき。
 - ②本クラブの名誉を傷つけ、秩序を乱したとき。
 - ③諸会費、諸料金の滞納、遅延など支払いを怠ったとき。
 - ④入会に際して会社に虚偽の申告をしたとき。
 - ⑤会社が本クラブの会員としてふさわしくないと判断したとき。(但し、会社が別途定める基準に準じて認めた場合は除く)
 - ⑥暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力であることが判明した時。
 - ⑦第17条の禁止事項を行ったとき。
 - ⑧その他本条に準ずる行為を行ったとき。

第10条(健康管理)

会員は各自の責任において健康管理を行なうものとします。次の1つに該当する場合はレッスンへの参加を止める事があります。この場合、納入済みの諸料金を返金いたします。

- ①メディカルチェックで異常が認められた場合。
- ②レッスン中に体調の変化が認められた場合。

3. 施設・サービス利用

第11条(諸規則の遵守)

会員は本クラブ施設・サービス利用およびレッスン受講に際して、本会則および会社が別途定める規則、注意事項を厳守し、本クラブでは従業員の指示に従っていただきます。

第12条(施設利用の制限)

本スクールの会員は定められたプログラムないしレッスン以外の参加はできません。

第13条(入場禁止・退場)

会社は下記の項に該当する方に入場禁止、退場を命じることができます。

- ①本会則および諸規則を遵守しない方。
- ②暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力。
- ③刺青、ファッションタトゥーを露出した方。
- ④酒気を帯びている方。
- ⑤集団感染するおそれのある疾病に罹患している方。
- ⑥会社が、他の施設利用者に迷惑をかけたと判断した方。
- ⑦正当な理由なく本クラブの従業員の指示に従わない方。
- ⑧第17条で禁止されている行為を行った方。

第13条の2(施設・サービス利用制限)

会社は下記の項に該当する方に施設・サービス利用の制限を命じることができます。

- ①健康状態により、医師から運動や入浴を禁じられている方。
- ②会社が運動や入浴、サービス利用することが好ましくないと判断した方。

第14条(損害賠償)

- ①本クラブの施設利用に際して本人または第三者に人的・物的事故が生じ、その事故について会社に帰責事由が認められる場合に限り、会社は適正な範囲の賠償をとするものとします。
- ②会員が本クラブの施設利用に際して会社、従業員または第三者に損害を与えた場合、速やかにその賠償の責に任ずるものとします。

第15条(盗難)

会員は、本クラブに設置されているロッカー等を会員自身の責任と負担により使用するものとします。収納物の盗難・毀損その他本クラブの利用に際して生じた盗難・毀損等については、会社に帰責事由が認められる場合に限り、会社は適正な範囲の賠償をとするものとします。

第16条(紛失物・忘れ物・放置物)

- ①会員が本クラブの利用に際して生じた紛失については、会社は一切損害賠償・補償等の責を負いません。
- ②忘れ物・放置物については、原則として2週間保管した後、処理させていただきます。

第17条(禁止事項)

本クラブ施設内および本クラブ周辺において、会員による次の行為を禁止します。

- ①動物を施設内に持ち込むこと。(身体障害者補助犬法で定められた盲導犬、介助犬および聴導犬を除く)
- ②刃物等の危険物を施設内に持ち込むこと。
- ③施設内で喫煙すること。(電子タバコ・無煙タバコを含む)
- ④許可なく施設内で撮影・録音すること。
- ⑤本クラブの諸施設・器具・備品その他会社が管理する物品の損壊や持ち出し。施設内に落書きや造作をすること。
- ⑥他人や従業員、本クラブ、会社を誹謗、中傷すること。
- ⑦許可なく本クラブにおいて物品の売買やパーソナルトレーニング等の営業行為や勧誘をすること。営利・非営利を問わず勧誘行為(団体加入の勧誘を含む)や政治活動、署名活動をすること。
- ⑧他人や従業員の身体を押し、拘束する、殴打する、蹴り上げる等の暴力行為。暴言、恫喝、大声、奇声を発したり、他人を睨む、行く手を遮る、襲いかかるうとする等の威嚇行為。物を叩く、投げる、壊すなど、他人が恐怖を感じる危険な行為。
- ⑨痴漢、覗き、露出等の公序良俗に反する行為。
- ⑩他人や従業員を待ち伏せたり、尾行、執拗な話しかけ等のストーカー行為。
- ⑪正当な理由なく、面談、電話、その他の方法で従業員を拘束する等、従業員の業務を妨げる行為。
- ⑫他人の施設利用を妨げる行為。
- ⑬支払うべき諸会費、諸料金、諸費用を支払うことなく不正に施設・サービスを利用する行為。
- ⑭その他、本クラブの秩序を乱す行為。本条各号に準じる行為。

第18条(利用案内)

本会則に定めのないクラブ運営事項については、施設内掲示あるいは利用案内または会社が別途定める規則に定めます。

4. 施設営業

第19条(スクールレッスンの休講・閉講)

会社は下記の理由により、スクールレッスンの休講・閉講をすることがあります。尚、休講したレッスンの補講を実施できない場合、および閉講したスクールレッスンが途中で閉講となった場合には、納入済みの諸料金を返金いたします。

- ①スクールレッスンが実施定員に満たなかったとき。
- ②運営上、スクールレッスンの開講が困難な理由が生じたとき。
- ③第22条②の場合。

第20条(休館)

- ①本スクール・本クラブは別途予め指定する期間を年次休館(年末年始・夏季)とするほか、年一回一定期間をメンテナンス休館、施設点検日を定期休館とします。
- ①①の休館のほか本スクール・本クラブは、次の理由により施設の全部または一部を臨時休館することがあります。
 - (1) 気象、災害、警報、注意報等により、安全に営業を行う事ができないと会社が判断したとき。
 - (2) 行政指導、法令等重大な事由により、止む得ないと会社が判断したとき。
 - (3) 入居している複合施設が休館するとき。
 - (4) 館内改装、施設の改造または修理、その他の工事により営業ができないと会社が判断したとき。
- ③予め予定されている休館は、原則2週間前までに告知します。但し、緊急の際は事前告知できない場合があります。

第21条(本クラブおよび施設の廃止・統合)

会社は次の理由により、本スクール・本クラブの全部または一部を廃止・統合することがあります。

- ①気象、災害等により施設を休館し、再開業が困難と判断したとき。
 - ②経営上、営業の継続が困難と判断したとき。
- 本スクール・本クラブの廃止や統合が行われた場合、会社はその旨を会員に告知し、本スクールの会員契約の全部または一部を終了させることができるものとします。

第22条(個人情報保護)

会社は、個人情報の取扱いに関するプライバシーポリシーを策定し、本プライバシーポリシーを遵守するとともに、お客様の個人情報はじめとする全ての個人情報をより安全かつ適切に取り扱うことを宣言いたします。プライバシーポリシーは、会社ホームページに掲載いたします。

第23条(会則の改定)

会社は本会則を改定することができ、改定された会則は、改定日より全会員に適用されるものとします。また、会社が本会則を改定する場合には、改定日の2ヶ月以上前に第24条(告知方法)および別途会社が告知方法を定めた場合にはその方法に従って会員に告知するものとします。

第24条(告知方法)

本会則の改定にあたっては、施設内に掲示し、かつ、会社のウェブサイトへ掲載することにより、これを会員に告知するものとします。

附則

本会則は、2019年10月1日より施行いたします。

HOTLUX 会 則

1. 総則

第1条(定義)

本会則によって定める条項は株式会社ティップネス(以下会社という)が運営するマグマ・スパ・ステューディオHOTLUXおよび施設(以下「HOTLUX」という)を利用する際に適用されるものとします。HOTLUXとは、会社が提供するマグマスパスタジオで提供するサービスの総称をいいます。また、外国語との対訳形式による本会則において、日本語による会則と外国語による会則の解釈に疑義が生じた場合には、日本語版を正本として全ての会員に適用されるものとします。

第2条(目的)

HOTLUX会員が、HOTLUXを利用して、心身の健康維持・増進、会員相互の親睦を図ることを目的とします。

2. 会員

第3条(会員)

- HOTLUXは会員制とし、入会する際に店舗ごとに定められた会員種類で契約し、利用範囲に応じてHOTLUXを利用することができます。
- HOTLUXはクラブサービスの一部を、会社が運営するウェブサイト「iTIPNESS(アイティップネス)」にて提供し、会員は「iTIPNESS利用規約」に同意の上、「会員登録者」となることにより、コンテンツ提供サービスを利用することができます。尚、会員資格喪失のときは同時に「iTIPNESS(アイティップネス)」のサービス利用資格も喪失します。
- 会員の契約期間は、月単位で会社が別途定めた期間とし会社所定の退会手続きが完了するまでは自動更新とします。

第4条(入会資格)

HOTLUXの入会資格を有する方は、以下の項目を全て満たす方とします。

- 16才以上の女性で、妊娠しておらず、本会則を承認し、諸規則を遵守する方。
- 暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力でない方。また、将来にわたりこれに該当しないことを自ら保証する方。
- 入会に先だって、HOTLUXの実施するメディカルチェック等の結果により施設の利用に差し支えがないと判断された方。
- 「他の会員に迷惑をかける恐れがない、または、会員として好ましくない行為をしない」と会社が判断した方。
- 過去に会社の運営する全施設およびHOTLUXで除名処分となったことがない(除名処分に該当する行為を行い、結果的に自ら退会した方を含む)、または会員制スポーツクラブ等で禁止行為を行ったことにより除名処分となったことがない方。また、過去の除名原因が明確であり、会社が別途定める基準に応じて再度入会資格を認めた方。
- 次のいずれかに該当した場合、HOTLUXが別途定める審査において入会資格が認められ、入会条件に同意した方。
 - ・刺青、ファッションタトゥーがある方。
 - ・集団感染するおそれのある疾病に罹患している方。
 - ・施設を一人で利用できない方。
 - ・上記の他、会社が審査を必要と判断した方。

第5条(入会手続き)

- HOTLUXを利用する方は、本会則を承認の上、入会手続きを行い所定の料金を納入し会社の承認を得、契約を行う事により会員となります。未成年者が入会を希望する場合は、本人とその親権者が連署の上入会手続きを行うものとします。この場合、親権者は本会則に基づく責任を本人と連帯して負うものとします。
- 会員となる方は入会手続きの際、氏名、生年月日、性別、連絡先電話番号、現住所、緊急連絡先と電話番号、郵便物送付先、勤務先名称と勤務先住所、および会費決済に必要な情報を登録するものとします。また、会員となる方は登録内容が正確であることを保証するものとします。
- 会員は入会手続きによって付与された会員番号により、会社が運営

するウェブサイト「iTIPNESS」に登録されます。会員が「iTIPNESS利用規約」に同意の上パスワード・メールアドレス等、所定項目を登録することにより、サービスを利用できます。

- HOTLUXは会員の顔写真を撮影し、入会手続きによって付与された会員番号を付したデジタル情報として保有し、本人確認等やサービスを提供する上で照合、サービスを利用いただくための資格等の確認に利用します。
- 会員資格を喪失した方が、HOTLUXに入会を希望する場合、会社は資格喪失理由により、諸会費・諸料金の割引を適用しない場合があります。また、HOTLUXは、第4条⑥により再度入会資格を認めた方について、諸会費・諸料金の支払方法を指定する場合があります。

第6条(会員証)

- 会社は会員に対して会員証を発行します。会員はHOTLUXの施設を利用するときは、会員証もしくはHOTLUXが発行するリストバンド型ICタグ「TIP GEAR(ティップギア)」を入退館時に提示いただきます。尚、会員は必要に応じて会員証を提示するものとします。
- 会員は会員資格を喪失したときは、会員の責任において、切断するなど利用不能の状態にして処分しなければならないものとします。
- 紛失したときは速やかに所定の方法で必ず再発行手続きをお取りいただきます。
- 会員証は本人のみが使用する事ができ、他人に貸与、譲渡できません。

第7条(諸会費・諸料金)

- 会員は会社が定めた諸会費・諸料金を所定の方法で、所定の期日に会社に納入しなければなりません。HOTLUXは未成年の会員の親権者、または会員資格のある会員の家族を会員の代理人として、諸会費・諸料金の納入を認める場合があります。この場合、会員の代理人は本会則に基づく責任を本人と連帯して負うものとします。
- 諸会費・諸料金にかかる消費税は会員の負担とします。尚、消費税法の改正等により消費税率が変更される場合、適用日以降に該当する期間の諸会費・諸料金に係る消費税について、前払金を含め法改正の内容に従い、会員は会社が定めた方法で差額を負担するものとします。
- 諸会費・諸料金の金額、支払時期、支払方法等は会社がこれを定めます。
- 利用回数の有無にかかわらず、所定の退会手続きを完了した退会月迄は月会費のお支払いが必要となります。尚、諸会費・諸料金の一括払い・前払い契約期間中に退会した場合は、会社が別途定める基準によるものとします。
- 会社はHOTLUXの運営上必要と判断した場合または経済情勢等の変動に応じて、会員種類の改廃もしくは諸会費・諸料金等の金額を変更することができ、会社が定めた方法により告知するものとします。
- 月会費を滞納している会員は、施設のご利用をお断りします。また未払い分の月会費は支払わなければなりません。
- 一旦納入いただいた諸費用に過払金が生じた場合、会社所定の退会手続きが完了するまでの間、会社が適当と認める順序、方法によりいずれかの債務にも充当することが出来るものとします。また、法令の定めまたは会社が認める理由がある場合のみ返還いたします。尚、返還先は、会員本人または第7条①で予め会社が認めている会員の代理人とします。

第8条(退会)

- 会員本人の都合による退会は、本人が退会希望月の25日迄(休館日の場合は前営業日)に来店し所定の手続きを完了する事により、その月末で退会できます。また、25日を過ぎた場合、翌月以降の月末日の退会となります。HOTLUXは手続書の際「退会ご確認書」を交付し、会員はこれに記載される退会年月を自ら確認するものとします。未払い料金のある場合は完納するまで退会後も支払の義務を負うものとします。
- 本人来店による所定の手続きができない場合は、代理人または郵送による所定の手続きができるものとし、手続期日などは第8条①と同様です。

第9条(会員資格の譲渡、相続、貸与)

会員は、如何なる場合も、その会員資格を他に譲渡・相続または貸与

することはできません。

第10条(会員の休会)

- 会員本人の都合により1ヶ月以上の長期にわたりHOTLUXを利用できない場合、本人が休会希望前月の25日迄(休館日の場合は前営業日)に来店し所定の手続きを完了し、所定の休会月会費を支払うことにより休会できます。また、休会手続きが休会希望前月の25日を過ぎた場合、翌々月以降の休会となり、翌月の月会費は全額お支払いいただきます。
- 休会会員は、本人の申し出により随時復会できます。復会月より所定の月会費をいただきます。また、1ヶ月以内の復会は休会の取り消しとなり、復会月の月会費は全額お支払いいただきます。復会手続きが25日を過ぎた場合、復会月の翌月は休会できないものとし、翌月の月会費は全額お支払いいただきます。
- 本人来店による所定の手続きができない場合は、代理人または郵送による所定の手続きができるものとし、手続期日などは第10条①と同様です。

第11条(諸手続き)

- 会員は会員種類・プライベートロッカー・オプション・サービスに関する変更等の手続きを、別途定める所定の方法で完了しなければなりません。また、会社は手続きの際《確認書》を交付し、変更契約書の取り交わしは省略するものとします。
- 会員は入会手続きの際に登録した内容に変更があった場合、速やかに変更手続きを行わなくてはなりません。また、その後に変更があった場合も同様とします。
- 会員の氏名、生年月日、性別、連絡先電話番号、現住所、緊急連絡先と電話番号、郵便物送付先、勤務先名称と勤務先住所について、会社が変更の事実を確認した場合は、本人の同意をもって登録内容を変更できるものとし、届出書の取り交わしを省略する場合があります。
- 会社が会員あてに郵便物で通知する場合、会員から届出のあった最新の住所あてに行い、発送をもって効力を有するものとし、不到達等以後の責を負いません。
- 会社が会員あてにiTIPNESSもしくはEメールで通知する場合、会員から届出のあった登録内容に基づいて行い、表示または発信をもって効力を有するものとし、未確認または不到達等以後の責を負いません。
- 会員が連絡先の変更を怠った場合、郵便物を希望しない場合、もしくはiTIPNESSを利用しない場合は、会社からの通知が不到達となっても、通常到達すべきときに到達したものとみなすことに異議はないものとします。
- 会社は、本人確認等やサービスを提供する上で照合、サービスを利用いただくための資格等の確認のため、入会手続きの際に撮影した顔写真の更新が必要と判断した場合、会員の顔写真を撮影できるものとなります。

第12条(会員除名)

会員が次のいずれかに該当した場合は、会社は、資格停止処分あるいは除名処分等の処分をなすことができます。また、各項に該当し除名を受けた会員は、その後会社の運営する全ての施設に入会および立ち入ることができません(但し、会社が別途定める基準に準じて認めた場合は除く)

- 本会則、その他会社が定める諸規則に違反したとき。
- 会社およびHOTLUXの名誉を傷つけ、秩序を乱したとき。
- 諸会費、諸料金の滞納、遅延など支払いを怠ったとき。
- 入会に際して会社に虚偽の申告をしたとき。
- 会社がHOTLUXの会員としてふさわしくないと判断したとき。
- 暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力であることが判明したとき。
- 他の会員に対する迷惑行為、HOTLUXの運営に支障を与えるような行為をしたとき。
- 第21条各号の禁止行為を行ったとき。
- その他、本条各号に準ずる行為をしたとき。

第13条(会員資格喪失)

会員は次の場合に会員資格を喪失します。

- ①退会したとき。
- ②会員が提携クレジットカード会社(株式会社オリエントコーポレーション、株式会社ジャックス、ライフカード株式会社)へ申し込んだ会費決済料金集金制度またはティップネスカードで会費を支払う場合で、会社が提携クレジットカード会社より会費決済について契約不成立、解除または無効の通知を受理したとき。(理由の如何に関わらず、会員へ事前通知連絡することはありません。)
- ③除名されたとき。
- ④死亡したとき。
- ⑤HOTLUXを廃止したとき。

第14条(健康管理)

- ①会員は各自の責任において健康管理を行うものとし、
- ②会員は疾病により医師に運動や入浴を控えるように指示された場合、または施設およびサービスの利用にあたり治療中の疾病もしくは疾患の疑いが生じた場合にはHOTLUXへ申告するものとし、HOTLUXは会員からの申告または施設およびサービスの利用中に疾病もしくは疾患の可能性が生じた場合にはメディカルチェックを実施し、その結果により施設の利用に差し支えがないことを確認するものとし、

3.施設・サービス利用

第15条(ビジター)

- ①会員が同伴したか否かに関わらず、HOTLUX会員以外(以下、ビジターという)の利用はできません。但し、ビジターであっても、「HOTLUX参加規約」を承認の上、体験者としてお一人一回のご利用、もしくは回数券を購入することにより利用することができるものとし、利用時には、別途定めるHOTLUX料金を支払わなければなりません。
- ②会社は、ビジターにHOTLUXの見学、施設・サービスを利用させることができます。
- ③体験者および回数券を購入しての利用者についてもHOTLUX利用のための資格確認、運営や緊急時の対応に必要な情報を登録するものとし、また、会員と同様に本会則が適用されます。

第16条(諸規則の厳守)

会員はHOTLUX利用に際して、本会則および会社が別途定める規則、注意事項を厳守し、HOTLUXでは従業員の指示に従っていただきます。

第17条(入場禁止、退場)

会社は下記の項に該当する方に入場禁止、退場を命じることができます。

- ①本会則および諸規則を遵守しない方。
- ②暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力。
- ③刺青、ファッションタトゥーを露出した方。
- ④酒気を帯びている方。
- ⑤集団感染するおそれのある疾病に罹患している方。
- ⑥会社が、他の施設利用者に迷惑をかけると判断した方。
- ⑦正当な理由なくHOTLUXの従業員の指示に従わない方。
- ⑧過去に会社が運営する全施設およびHOTLUXで除名の通告を受けたまたは除名処分となったことがある(除名処分に該当する行為を行い、結果的に自ら退会した方を含む)、または会員制スポーツクラブ等で禁止行為を行ったことにより除名処分となったことがある方。
- ⑨第21条で禁止されている行為を行った方。

第17条の2(施設・サービス利用制限)

会社は下記の項に該当する方に施設・サービス利用の制限を命じることができます。

- ①健康状態により、医師から運動や入浴を禁じられている方。
- ②会社が運動や入浴、サービス利用することが好ましくないと判断した方。

第18条(損害賠償)

- ①HOTLUXの施設利用に際して本人または第三者に人的・物的事故が生じ、その事故について会社に帰責事由が認められる場合に限り、会社は適正な範囲の賠償をするものとし、
- ②会員がHOTLUXの施設利用に際して会社、従業員または第三者に損害を与えた場合、速やかにその賠償の責に任じるものとし

ます。

第19条(盗難)

会員は、HOTLUXに設置されているロッカー等を会員自身の責任と負担により使用するものとします。収納物の盗難・毀損その他HOTLUXの利用に際して生じた盗難・毀損等については、会社に帰責事由が認められる場合に限り、会社は適正な範囲の賠償をするものとし、

第20条(紛失物・忘れ物・放置物)

- ①会員がHOTLUXの利用に際して生じた紛失については、会社は一切損害賠償・補償等の責を負いません。
- ②忘れ物・放置物については、原則として2週間保管した後、処理させていただきます。

第21条(禁止事項)

- HOTLUX内およびHOTLUX周辺において、会員による次の行為を禁止します。
- ①動物をHOTLUX内に持ち込むこと。(身体障害者補助犬法で定められた盲導犬、介助犬および聴導犬を除く)
 - ②刃物等の危険物を施設内に持ち込むこと。
 - ③HOTLUX内で喫煙すること。(電子タバコ・無煙タバコを含む)
 - ④許可なく施設内で撮影・録音すること。
 - ⑤HOTLUXの諸施設・器具・備品その他会社が管理する物品の損壊や持ち出し、HOTLUX内に落書きや造作をすること。
 - ⑥所定の場所以外での排泄行為。
 - ⑦他人や従業員、HOTLUX、会社が誹謗、中傷すること。
 - ⑧許可なくHOTLUXにおいて物品の売買やパーソナルトレーニング等の営業行為や勧誘をすること。営利・非営利を問わず勧誘行為(団体加入の勧誘を含む)や政治活動、署名活動を行うこと。
 - ⑨他人や従業員の身体を押す、拘束する、殴打する、蹴り上げる等の暴力行為。暴言、恫喝、大声、奇声を発したり、他人を睨む、行く手を遮る、襲いかかろうとする等の威嚇行為。物を叩く、投げる、壊すなど、他人が恐怖を感じる危険な行為。
 - ⑩痴漢、覗き、露出等の公序良俗に反する行為。
 - ⑪他人や従業員を待ち伏せたり、尾行、執拗な話しかけ等のストーカー行為。
 - ⑫正当な理由なく、面談、電話、その他の方法で従業員を拘束する等、従業員の業務を妨げる行為。
 - ⑬他人の施設利用を妨げる行為。
 - ⑭支払うべき諸会費、諸料金、諸費用を支払うことなく不正に施設・サービスを利用する行為。
 - ⑮その他、HOTLUXの秩序を乱す行為。本条各号に準じる行為。

第22条(利用案内)

本会則に定めないクラブ運営事項については、施設内掲示あるいは利用案内または会社が別途定める規則に定めます。

4.施設営業

第23条(営業時間)

営業時間は別途定めます。

第24条(休館)

- ①HOTLUXは別途予め指定する期間を年末年始・夏季とするほか、年一回一定期間をメンテナンス休館、施設点検日を定期休館とします。
- ②①の休館のほかHOTLUXは、次の理由により施設の全部または一部を臨時休館することがあります。
 - (1)気象、災害、警報、注意報等により、安全に営業を行う事ができないと会社が判断したとき。
 - (2)行政指導、法令等重大な事由により、止む得ないと会社が判断したとき。
 - (3)入居している複合施設が休館するとき。
 - (4)館内改装、施設の改造または修理、その他の工事により営業ができないと会社が判断したとき。
- ③予め予定されている休館は、原則2週間前までに告知します。但し、緊急の際は事前告知できない場合があります。
- ④施設の一部分の利用制限ないし利用停止の措置にとどまる場合には、会社は会員に会費を返還しないものとします。また、②(1)(2)(3)

- (4)の事由による休館店舗のみ利用できる会員種類の会員の会費については、以下のとおりとします。但し、休館店舗以外の他店舗も利用することができる会員種類の会員は対象外とします。
 - (1)月間10営業日以上(2月は9営業日以上)全館休館した場合は、休館した日数分を日割り計算し返金いたします。

第25条(HOTLUXの廃止・統合)

会社は次の理由により、HOTLUXの全部または一部を廃止・統合することがあります。

- ①気象、災害等により施設を休館し、再開業が困難と判断したとき。
 - ②経営上、営業の継続が困難と判断したとき。
- HOTLUXの廃止や統合が行われた場合、会社はその旨を会員に告知し、HOTLUXの会員契約の全部または一部を終了させることができるものとし、

5.その他

第26条(個人情報保護)

会社は、個人情報の取扱いに関するプライバシーポリシーを策定し、本プライバシーポリシーを遵守するとともに、お客様の個人情報はじめとする全ての個人情報をより安全かつ適切に取り扱うことを宣言いたします。プライバシーポリシーは、会社ホームページに掲載いたします。

第27条(会則の改定)

会社は本会則を改定することができ、改定された会則は、改定日より全会員に適用されるものとします。また、会社が本会則を改定する場合には、改定日の2ヶ月以上前に第28条(告知方法)および別途会社が告知方法を定めた場合にはその方法に従って会員に告知するものとし、

第28条(告知方法)

本会則の改定にあたっては、施設内に掲示し、かつ、会社のウェブサイトへ掲載することにより、これを会員に告知するものとし、

附則

本会則は、2019年10月1日より施行いたします。

法人月会費制会員 会則における特則

法人月会費制会員は、HOTLUX会則に次の事項を追加いたします。

第1条 HOTLUX会則第8条(退会)について以下の通り追加いたします。

- ①契約法人が本クラブを退会した場合は、各登録会員も自動的に退会となります。(会員による退会の手続きは不要です。)
- ②お勤め先、所属先を退職または脱退した場合は、会員本人が退職または脱退月の25日迄に来店し所定の手続きを完了しなければなりません。

第2条 HOTLUX会則第13条(会員資格喪失)について以下の通り追加いたします。

- 会員は次の場合に会員資格を喪失します。
- ①契約法人が本クラブを退会したとき、または契約法人たる資格を喪失したとき。
 - ②お勤め先、所属先を退職または脱退したとき。

第3条(効力)

本特則は2019年10月1日より適用します。
本特則に定めのない事項は、全てHOTLUX会則に従うものとします。

以上

株式会社ティップネス

libéry 会 則

1. 総則

第1条(定義)

本会則によって定める条項は株式会社ティップネス(以下会社という)が運営するlibéry(以下「本クラブ」という)に適用されるものとします。また、外国語との対訳形式による本会則において、日本語による会則と外国語による会則の解釈に疑義が生じた場合には、日本語版を正本として全ての会員に適用されるものとします。

第2条(目的)

本クラブ会員が、クラブ内の諸施設を利用して、心身の健康維持・増進、会員相互の親睦を図ることを目的とします。

2. 会員

第3条(会員)

- ①本クラブは会員制とし、入会する際に店舗ごとに定められた会員種類で契約し、利用範囲に応じて本クラブを利用することができます。
- ②本クラブはクラブサービスの一部である「libéry予約サイト」を、会社が運営するウェブサイト「iTIPNESS(アイティップネス)」にて提供し、会員は「iTIPNESS利用規約」に同意の上、「会員登録者」となることにより、コンテンツ提供サービスを利用することができます。尚、会員資格喪失のときは同時に「iTIPNESS(アイティップネス)」のサービス利用資格も喪失します。
- ③会員の契約期間は、月単位で会社が別途定めた期間とし会社所定の退会手続きが完了するまでは自動更新とします。

第4条(入会資格)

本クラブの入会資格を有する方は、以下の項目を全て満たす方とします。

- ①16才以上の女性で、本会則を承認し、諸規則を遵守する方。
- ②暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力でない方。また、将来にわたりこれに該当しないことを自ら保証する方。
- ③入会に先だって、本クラブの実施するメディカルチェック等の結果により施設の利用に差し支えがないと判断された方。
- ④「他の会員に迷惑をかける恐れがない、または、会員として好ましくない行為をしない」と会社が判断した方。
- ⑤過去に会社の運営する全施設および本クラブで除名処分となったことがない(除名処分に該当する行為を行い、結果的に自ら退会した方を含む)、または会員制スポーツクラブ等で禁止行為を行ったことにより除名処分となったことがない方。また、過去の除名原因が明確であり、会社が別途定める基準に応じて再度入会資格を認めた方。
- ⑥次のいずれかに該当した場合、本クラブが別途定める審査において入会資格が認められ、入会条件に同意した方。
 - ・刺青、ファッションタトゥーがある方。
 - ・集団感染するおそれのある疾病に罹患している方。
 - ・施設を一人で利用できない方。
 - ・妊娠している方。
 - ・上記の他、会社が審査を必要と判断した方。

第5条(入会手続き)

- ①本クラブを利用する方は、本会則を承認の上、入会手続きを行い所定の料金等を納入し会社の承認を得、契約を行う事により会員となります。未成年者が入会を希望する場合は、本人とその親権者が連署の上入会手続きを行うものとします。この場合、親権者は本会則に基づく責任を本人と連帯して負うものとします。
- ②会員となる方は入会手続きの際、氏名、生年月日、性別、連絡先電話番号、現住所、緊急連絡先と電話番号、郵便物送付先、勤務先名称と勤務先住所、および会費決済に必要な情報を登録するものとします。また、会員となる方は登録内容が正確であることを保証するものとします。
- ③会員は入会手続きによって付与された会員番号により、会社が運営するウェブサイト「iTIPNESS」に登録されます。会員が

「iTIPNESS利用規約」に同意の上パスワード・メールアドレス等、所定項目を登録することにより、サービスを利用できます。

- ④本クラブは会員の顔写真を撮影し、入会手続きによって付与された会員番号を付したデジタル情報として保有し、本人確認等やサービスを提供する上での照合、サービスを利用いただくための資格等の確認に利用します。
- ⑤会員資格を喪失した方が、本クラブに入会を希望する場合、会社は資格喪失理由により、諸会費・諸料金の割引を適用しない場合があります。また、本クラブは、第4条⑥により再度入会資格を認めた方について、諸会費・諸料金の支払方法を指定する場合があります。

第6条(会員証)

- ①会社は会員に対して会員証を発行します。会員は本クラブの施設を利用するときは、会員証を入退館時に提示いただきます。なお、会員は必要に応じて会員証を提示するものとします。
- ②会員は会員資格を喪失したときは、会員の責任において、切断するなど利用不能の状態にして処分しなければならないものとします。
- ③紛失したときは速やかに所定の方法で必ず再発行手続きをお取りいただきます。
- ④会員証は本人のみが使用する事ができ、他人に貸与、譲渡できません。

第7条(諸会費・諸料金)

- ①会員は会社が定めた諸会費・諸料金を所定の方法で、所定の期日に会社に納入しなければなりません。本クラブは未成年の会員の親権者、または会員資格のある会員の家族を会員の代理人として、諸会費・諸料金の納入を認める場合があります。この場合、会員の代理人は本会則に基づく責任を本人と連帯して負うものとします。
- ②諸会費・諸料金にかかる消費税は会員の負担とします。尚、消費税法の改正等により消費税率が変更される場合、適用日以降に該当する期間の諸会費・諸料金に係る消費税について、前払金を含めた法改正の内容に従い、会員は会社が定めた方法で差額を負担するものとします。
- ③諸会費・諸料金の金額、支払時期、支払方法等は会社がこれを定めます。本クラブは会員の利用権利に応じて入会金を設ける場合があります。入会金の有無、金額は別に定め、会員は入会時にこれを支払うこととします。入会金は契約締結のためのものであり、理由の如何を問わず会員にこれを返還しないものとします。
- ④利用回数の有無にかかわらず、所定の退会手続きを完了した退会月迄は月会費のお支払いが必要となります。尚、諸会費・諸料金の一括払い・前払い契約期間中に退会した場合は、会社が別途定める基準によるものとします。
- ⑤会社は本クラブの運営上必要と判断した場合または経済情勢等の変動に応じて、会員種類の改廃もしくは諸会費・諸料金等の金額を変更することができ、会社が定めた方法により告知するものとします。
- ⑥月会費を滞納している会員は、施設のご利用をお断りします。また未払い分の月会費は支払わなければなりません。
- ⑦一旦納入いただいた諸費用に過払金が生じた場合、会社所定の退会手続きが完了するまでの間、会社が適当と認める順序、方法によりいずれかの債務にも充当することが出来るものとします。また、法令の定めまたは会社が認める理由がある場合のみ返還いたします。尚、返還先は、会員本人または第7条①で予め会社が認めている会員の代理人とします。

第8条(退会)

- ①会員本人の都合による退会は、本人が退会希望月の25日迄(休館日の場合は前営業日)に本店し所定の手続きを完了する事により、その月末で退会できます。また、25日を過ぎた場合、翌月以降の月末日の退会となります。本クラブは手続きの際「退会ご確認書」を交付し、会員はこれに記載される退会年月を自ら確認するものとします。未払い料金のある場合は完納するまで退会後も支払の義務を負うものとします。

- ②本人来店による所定の手続きができない場合は、代理人または郵送による所定の手続きができるものとし、手続き日などは第8条①と同様です。

第9条(会員資格の譲渡、相続、貸与)

会員は、如何なる場合も、その会員資格を他に譲渡・相続または貸与することはできません。

第10条(会員の休会)

休会制度はありません。

第11条(諸手続き)

- ①会員は会員種類・プライベートロッカー・オプション・サービスに関する変更等の手続きを、別途定める所定の方法で完了しなければなりません。また、会社は手続きの際「確認書」を交付し、変更契約書の取り交わしは省略するものとします。
- ②会員は入会手続きの際に登録した内容に変更があった場合、速やかに変更手続きを行わなくてはなりません。また、その後に変更があった場合も同様とします。
- ③会員の氏名、生年月日、性別、連絡先電話番号、現住所、緊急連絡先と電話番号、郵便物送付先、勤務先名称と勤務先住所について、会社に変更の事実を確認した場合は、本人の同意をもって登録内容を変更できるものとし、届出書の取り交わしを省略する場合があります。
- ④会社が会員あてに郵便物で通知する場合、会員から届出のあった最新の住所あてに行い、発送をもって効力を有するものとし、不到達等以後の責を負いません。
- ⑤会社が会員あてにiTIPNESSもしくはEメールで通知する場合、会員から届出のあった登録内容に基づいて行い、表示または発信をもって効力を有するものとし、未確認または不到達等以後の責を負いません。
- ⑥会員が連絡先の変更を怠った場合、郵便物を希望しない場合、もしくはiTIPNESSを利用しない場合は、会社からの通知が不到達となっても、通常到達すべきときに到達したものとみなすことに異議はないものとします。
- ⑦本クラブは、本人確認等やサービスを提供する上での照合、サービスを利用いただくための資格等の確認のため、入会手続きの際に撮影した顔写真の更新が必要と判断した場合、会員の顔写真を撮影できるものとします。

第12条(会員除名)

会員が次のいずれかに該当した場合は、会社は、資格停止処分あるいは除名処分等の処分をなすことができます。また、各項に該当し除名を受けた会員は、その後会社の運営する全ての施設に入会および立ち入ることができないものとします。(但し、会社が別途定める基準に準じて認めた場合は除く)

- ①本会則、その他会社が定める諸規則に違反したとき。
- ②本クラブの名誉を傷つけ、秩序を乱したとき。
- ③諸会費、諸料金の滞納、遅延など支払いを怠ったとき。
- ④入会に際して会社に虚偽の申告をしたとき。
- ⑤会社が本クラブの会員としてふさわしくないと判断したとき。
- ⑥暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力であることが判明したとき。
- ⑦他の会員に対する迷惑行為、本クラブの運営に支障を与えるような行為をしたとき。
- ⑧第21条各号の禁止行為を行ったとき。
- ⑨その他、本条各号に準ずる行為をしたとき。

第13条(会員資格喪失)

会員は次の場合に会員資格を喪失します。

- ①退会したとき。
- ②除名されたとき。
- ③死亡したとき。
- ④本クラブを廃止したとき。

第14条(健康管理)

- ①会員は各自の責任において健康管理を行うものとします。
- ②会員は疾病により医師に運動や入浴を控えるように指示された

場合、または施設およびサービスの利用にあたり治療中の疾病もしくは疾患の疑いが生じた場合には本クラブへ申告するものとします。本クラブは会員からの申告または施設およびサービスの利用中に疾病もしくは疾患の可能性が生じた場合にはメディカルチェックを実施し、その結果により施設の利用に差し支えがないことを確認するものとします。

3.施設・サービス利用

第15条(ビジター)

- ①会社は、会員以外の方(以下、ビジターという)に本クラブの見学、施設・サービスを利用させることができます。
- ②ビジターについても施設・サービス利用のための資格確認、運営や緊急時の対応に必要な情報を登録するものとします。また、会員と同様に本会則が適用されます。

第16条(諸規則の厳守)

会員は本クラブ利用に際して、本会則および会社が別途定める規則、注意事項を厳守し、本クラブでは従業員の指示に従っていただきます。

第17条(入場禁止、退場)

会社は下記の項に該当する方に入場禁止、退場を命じることができます。

- ①本会則および諸規則を遵守しない方。
- ②暴力団・暴力団員その他これに準ずる者等反社会的勢力。
- ③刺青、ファッションタトゥーを露出した方。
- ④酒気を帯びている方。
- ⑤集団感染するおそれのある疾病に罹患している方。
- ⑥会社が、他の施設利用者に迷惑をかけると判断した方。
- ⑦正当な理由なく本クラブの従業員の指示に従わない方。
- ⑧過去に会社が運営する全施設および本クラブで除名の通告を受けたまたは除名処分となったことがある(除名処分に該当する行為を行い、結果的に自ら退会した方を含む)、または会員制スポーツクラブ等で禁止行為を行ったことにより除名処分となったことがある方。
- ⑨第21条で禁止されている行為を行った方。

第17条の2(施設・サービス利用制限)

会社は下記の項に該当する方に施設・サービス利用の制限を命じることができます。

- ①健康状態により、医師から運動や入浴を禁じられている方。
- ②会社が運動や入浴、サービス利用することが好ましくないと判断した方。

第18条(損害賠償)

- ①本クラブの施設利用に際して本人または第三者に人的・物的事故が生じ、その事故について会社に帰責事由が認められる場合に限り、会社は適正な範囲の賠償をするものとします。
- ②会員が本クラブの施設利用に際して会社、従業員または第三者に損害を与えた場合、速やかにその賠償の責に任じるものとします。

第19条(盗難)

会員は、本クラブに設置されているロッカー等を会員自身の責任と負担により使用するものとします。収納物の盗難・毀損その他本クラブの利用に際して生じた盗難・毀損等については、会社に帰責事由が認められる場合に限り、会社は適正な範囲の賠償をするものとします。

第20条(紛失物・忘れ物・放置物)

- ①会員が本クラブの利用に際して生じた紛失については、会社は一切損害賠償・補償等の責を負いません。
- ②忘れ物・放置物については、原則として2週間保管した後、処理させていただきます。

第21条(禁止事項)

本クラブ内および本クラブ周辺において、会員による次の行為を禁

止します。

- ①動物を本クラブ内に持ち込むこと。(身体障害者補助犬法で定められた盲導犬、介助犬および聴導犬を除く)
- ②刃物等の危険物を施設内に持ち込むこと。
- ③本クラブ内で喫煙すること。(電子タバコ・無煙タバコを含む)
- ④許可なく施設内で撮影・録音すること。
- ⑤本クラブの諸施設・器具・備品その他会社が管理する物品の損壊や持ち出し。本クラブ内に落書きや造作をすること。
- ⑥所定の場所以外での排泄行為。
- ⑦他人や従業員、本クラブ、会社を誹謗、中傷すること。
- ⑧許可なく本クラブにおいて物品の売買やパーソナルトレーニング等の営業行為や勧誘をすること。営利・非営利を問わず勧誘行為(団体加入の勧誘を含む)や政治活動、署名活動をすること。
- ⑨他人や従業員の身体を押す、拘束する、殴打する、蹴り上げる等暴力行為。暴言、恫喝、大声、奇声を発したり、他人を睨む、行く手を遮る、襲いかかろうとする等の威嚇行為。物を叩く、投げる、壊すなど、他人が恐怖を感じる危険な行為。
- ⑩痴漢、覗き、露出等の公序良俗に反する行為。
- ⑪他人や従業員を待ち伏せたり、尾行、執拗な話しかけ等のストーカー行為。
- ⑫正当な理由なく、面談、電話、その他の方法で従業員を拘束する等、従業員の業務を妨げる行為。
- ⑬他人の施設利用を妨げる行為。
- ⑭支払うべき諸会費、諸料金、諸費用を支払うことなく不正に施設・サービスを利用する行為。
- ⑮その他、本クラブの秩序を乱す行為。本条各号に準じる行為。

第22条(利用案内)

本会則に定めのないクラブ運営事項については、施設内掲示あるいは利用案内または会社が別途定める規則に定めます。

4.施設営業

第23条(営業時間)

営業時間は別途定めます。

第24条(休館)

- ①本クラブは別途予め指定する期間を年次休館(年末年始)とするほか、施設点検日を定期休館とします。
- ②①の休館のほか本クラブは、次の理由により施設の全部または一部を臨時休館することがあります。
 - (1)気象、災害、警報、注意報等により、安全に営業を行う事ができないと会社が判断したとき。
 - (2)行政指導、法令等重大な事由により、止む得ないと会社が判断したとき。
 - (3)入居している複合施設が休館するとき。
 - (4)館内改装、施設の改造または修理、その他の工事により営業ができないと会社が判断したとき。
- ③予め予定されている休館は、原則2週間前までに告知します。但し、緊急の際は事前告知できない場合があります。
- ④施設の一部分の利用制限ないし利用停止の措置にとどまる場合には、会社は会員に会費を返還しないものとします。また、②(1)(2)(3)(4)の事由による休館店舗のみ利用できる会員種類の会員の会費については、以下のとおりとします。但し、休館店舗以外の他店舗も利用することができる会員種類の会員は対象外とします。
 - (1)月間10営業日以上(2月は9営業日以上)全館休館した場合は、休館した日数分を日割り計算し返金いたします。

第25条(本クラブおよび施設の廃止・統合)

会社は次の理由により、本クラブおよび施設の全部または一部を廃止・統合することがあります。

- ①気象、災害等により施設を休館し、再開業が困難と判断したとき。
 - ②経営上、営業の継続が困難と判断したとき。
- 本クラブおよび施設の廃止や統合が行われた場合、会社はその旨を会員に告知し、本クラブの会員契約の全部または一部を終了させることができるものとします。

5.その他

第26条(個人情報保護)

会社は、個人情報の取扱いに関するプライバシーポリシーを策定し、本プライバシーポリシーを遵守するとともに、お客様の個人情報をはじめとする全ての個人情報をより安全かつ適切に取り扱うことを宣言いたします。プライバシーポリシーは、会社ホームページに掲載いたします。

第27条(会則の改定)

会社は本会則を改定することができ、改定された会則は、改定日より全会員に適用されるものとします。また、会社が本会則を改定する場合は、改定日の2ヶ月以上前に第28条(告知方法)および別途会社が告知方法を定めた場合にはその方法に従って会員に告知するものとします。

第28条(告知方法)

本会則の改定にあたっては、施設内に掲示し、かつ、会社のウェブサイトへ掲載することにより、これを会員に告知するものとします。

附則

本会則は、2019年10月1日より施行いたします。

法人月会費制会員 会則における特則

法人月会費制会員は、libéry会則に次の事項を追加いたします。

第1条 libéry会則第8条(退会)について以下の通り追加いたします。

- ①契約法人が本クラブを退会した場合は、各登録会員も自動的に退会となります。(会員による退会の手続きは不要です。)
- ②お勤め先、所属先を退職または脱退した場合は、会員本人が退職または脱退月の25日迄に来店し所定の手続きを完了しなければなりません。

第2条 libéry会則第13条(会員資格喪失)について以下の通り追加いたします。

- 会員は次の場合に会員資格を喪失します。
- ①契約法人が本クラブを退会したとき、または契約法人たる資格を喪失したとき。
 - ②お勤め先、所属先を退職または脱退したとき。

第3条(効力)

本特則は2019年10月1日より適用します。
本特則に定めのない事項は、全てlibéry会則に従うものとします。

以上

株式会社ティップネス